



Kodak

i1800 シリーズスキャナ

ユーザーズガイド

目次

1 はじめに	1-1
新機能	1-2
ファームウェア 3.X.X 以降	1-2
スキャナの機能	1-3
システム要件	1-4
参考資料	1-4
サービス、サポートへの連絡方法	1-6
安全性に関する情報	1-7
MSDS	1-7
ユーザへの注意事項	1-7
ガススプリングに関する警告	1-7
環境に関する情報	1-8
ヨーロッパ連合	1-8
電池に関する情報	1-8
EMC 声明	1-8
米国	1-8
日本	1-8
台湾	1-9
中華人民共和国	1-9
韓国	1-9
ヨーロッパ連合	1-9
騒音	1-9
電源システム接続	1-9
2 スキャナの概要	2-1
スキャナーのコンポーネント	2-1
3 スキャナの使用法	3-1
スキャナの電源をオンにする	3-1
スキャナの電源をオフにする	3-3
スキャンの開始および停止	3-3
原稿の準備	3-3
入力エレベータの調整	3-5
サイドガイドの調整	3-5
給紙位置の選択	3-5
サイドガイドのロック	3-5
入力エレベータの高さの調整	3-6
入カトレイの幅の調整	3-6
延長トレイの取り付け	3-7
出カトレイのオプション	3-7
出カトレイの調整	3-7
サイドガイドの調整	3-7
43.2 cm (17 インチ) 以下の原稿用出カトレイの調整	3-8
出カトレイの調整	3-8
エンドストップの調整	3-9
出カトレイの角度の調整	3-9
排紙デフレクタ	3-11
出カトレイの調整 (43.2 cm (17 インチ) ~ 101.6 cm (40 インチ) の原稿の場合)	3-12
短いドキュメントトレイの調整	3-13

スキャナの高さの調整	3-14
重送検知機能を使用した原稿の給紙	3-15
自動給紙	3-15
連続給紙	3-16
手動給紙	3-16
特別な処理を必要とする原稿の給紙	3-17
オペレータコントロールパネルのタッチ画面の使用	3-18
[設定]画面	3-19
アラーム音量の変更	3-20
トーンを選択	3-21
言語を選択	3-22
イメージアドレス管理の設定（有効／無効）	3-23
スキャナのキャリブレーション	3-25
プリンタ単位	3-27
デリケート給紙モード	3-28
待機画面	3-29
オペレータログ	3-30
スキャナ情報の表示	3-31
カウントオンリーモード（Count only mode）	3-32
印字テストの実行	3-33
スキャナを使用可能にする	3-34
エレベータトレイを下げる	3-34
オフセット印刷の変更	3-35
プリンタを無効にしています	3-37
搬送路のクリア	3-37
パッチ検知テストの実行	3-38
セルフテストの実行	3-39
スキャン	3-39
スキャン中のファンクションキーの使用	3-39
イメージアドレスレベルの変更	3-40
手動によるスキャナの一時停止および再開	3-41
スキャナの自動一時停止および再開	3-41
省電力モード	3-42
メッセージの表示	3-42
4 拡張プリンタとパッチリーダーの使用方法	4-1
拡張プリンタの概要	4-1
プリンタの仕様	4-2
印字位置の変更	4-3
裏面の水平印字位置の変更	4-4
表面から裏面、または裏面から表面へのプリンタキャリア とケーブルの移動	4-5
インクカートリッジの交換	4-7
プロッタストリップの交換（表面印字の場合）	4-9
インクプロッタストリップの交換（裏面印字の場合）	4-11
パッチ機能の概要	4-12
パッチリーダー	4-12
パッチタイプ	4-12
パッチコードの配置	4-13
5 メンテナンス	5-1
クリーニング頻度チャート	5-2
クリーニング用品	5-2
消耗品およびアクセサリ	5-3
部品の注文	5-3

清掃手順	5-4
OCP タッチ画面のクリーニング	5-4
出カトレイと入力エレベータの掃除	5-4
ローラーのクリーニング	5-5
搬送路の掃除	5-9
バックグラウンドストリップの下の掃除	5-9
イメージングガイドのクリーニング (基本)	5-10
イメージングガイドのクリーニング (完全)	5-11
搬送路クリーニングシートによるクリーニング	5-13
クリーニングの最終手順	5-14
交換手順	5-15
フィードモジュールまたはフィードモジュールタイヤの交換手順	5-15
セパレーションローラまたはセパレーションローラタイヤの 交換手順	5-19
プリセパレーションパッドの交換手順	5-20
イメージングガイドの交換手順	5-20
6 トラブルシューティング	6-1
オペレータログの表示	6-1
タッチ画面からのオペレータログの表示	6-1
Scan Validation Tool を使ったオペレータログの表示	6-2
メッセージ一覧	6-5
メッセージ番号一覧	6-10
サービスセンタへの問い合わせ	6-11
問題の解決	6-12
付録 A アクセサリや消耗品	A-1
黒バックグラウンドアクセサリ	A-1
薄紙専用フィードモジュール	A-1
白バックグラウンドアクセサリ	A-1
手動フィーダ	A-1
高解像度プリンタアクセサリ	A-2
付録 B 仕様	B-1

1 はじめに

この『ユーザーズガイド』では、コダック i1800 シリーズスキャナの機能および手順について説明します。

第 1 章 はじめに — 製品詳細、スキャナの機能、安全性に関する情報、ユーザへの注意事項、サービス/サポートへの連絡方法など、i1800 スキャナに関する一般的な情報を説明します。

第 2 章 スキャナの概要 — スキャナの内部および外部コンポーネントの概要を説明します。

第 3 章 スキャナの使用法 — スキャンする原稿の準備方法、入力エレベータ、出力トレイ、および作業テーブルの調整、原稿のスキャン、およびタッチ画面の使用法について説明します。

第 4 章 拡張プリンタとパッチリーダーの使用法 — 拡張プリンタとパッチリーダーの使用、管理方法について説明します。

第 5 章 メンテナンス — フィードモジュール、セパレーションローラ、エアフィルタ、およびイメージングガイドのクリーニング、交換手順も含め、i1800 スキャナのメンテナンス手順について説明します。

第 6 章 トラブルシューティング — オペレータログへのアクセス、問題解決チャート、紙詰まりの取り除き方、エラーメッセージ一覧などを説明します。

付録 A アクセサリ — コダック i1800 シリーズスキャナをサポートするために購入できるオプションのアクセサリについて説明します。これらのアクセサリの使用法は、各アクセサリに付属しています。

付録 B 仕様 — コダック i1800 シリーズスキャナの仕様リストについて説明します。

新機能

以下の新機能はコダック i1800 シリーズスキャナーのファームウェアバージョン 2.1.1（以上）に搭載されています。

- **クイックエレベータ** — 以前のバージョンのコダック i1800 シリーズスキャナーと比べおよそ 2 倍のエレベータスピードを実現。
- **素早い再装填** — エレベータが元の用紙ソースポジション（例：[250 枚]、[500 枚] など）に戻る前にドキュメントの束を素早く装填。たとえば、用紙ソース位置を [500 枚] に設定し、複数の小さいバッチのドキュメントをスキャンしたい場合、この機能によりエレベータが下降次第、トレイにドキュメントをセットできます。エレベータは [500 枚] ソース位置に戻る前に即座に給紙位置まで移動します。
- **デリケート給紙モード** — 遅いペースでトランスポートに給紙することで脆くなったドキュメントの給紙が可能になります。

ファームウェア 3.X.X 以降

- ファームウェア 3.X.X 以降と最新の TWAIN データソース /ISIS ドライバをご使用いただくと、両面スキャン時に表面と裏面で異なる解像度 (dpi) を設定できます。
- 最長原稿サイズは 101.6 cm に拡張されました。

スキャナの機能

- 優れたペーパーハンドリング、イメージ品質および信頼性
 - 最長原稿サイズは 1016 mm です
 - カラーまたはグレースケールを白黒と同速度でスキャン
 - 使いやすいカラーのタッチ画面
 - 白黒およびカラー／グレースケールイメージの同時出力
 - さまざまな種類の用紙重量および用紙サイズに対応
 - スキャン後のイメージ制御、イメージアドレス管理、および白黒／カラーまたは白黒／グレースケール出カストリームを切り替えるためのパッチを処理するビルトインのパッチリーダー
 - カスタムカラーテーブルの作成を可能にする輝度／コントラスト調整ツール付き
 - 各スキャナに付属の CD に ISIS および TWAIN デバイスドライバを収録
 - 多言語サポート
 - オペレータが必要に応じて高さを調節できる作業テーブルなど、人間工学に基づいたデザイン
 - 500 枚の入カエレベータ
 - デリケート給紙モード
 - エナジー スターに適合
 - 拡張プリンタまたは高解像度プリンタアクセサリを使った原稿の印刷機能
 - 赤、緑、青のエレクトロニックカラードロップアウト
 - 出力解像度
 - Black and white (白黒) : 200, 240, 300, 400
 - カラー : 100, 150, 200, 240, 300
 - グレースケール : 100, 150, 200, 240, 300
- 注 : 表面と裏面で異なるスキャン解像度を設定できます
- 長さによる検知機能ならびに複数の超音波センサによる重送検知機能
 - 自動給紙および手動給紙
 - カラー／グレースケールイメージの JPEG 圧縮
 - 白黒、グレースケール、およびカラーイメージの処理にコダックの Perfect Page テクノロジーを利用したイメージ処理機能
 - 簡単に交換できるフィードモジュール、セパレーションローラ、およびプリセパレーションパッド
 - 長寿命のランプ

システム要件

コダック i1800 シリーズスキャナの利用に推奨する最小システム構成は以下のとおりです。

注：システムの実際の性能は、スキャンアプリケーション、スキャンパラメータの選択、およびホストコンピュータの設定によって異なります。スキャナが最適な速度で動作しない場合は、定格のスループットを得るために、より高速なコンピュータを使用したり、RAMを増設しなければならない場合があります。

- Pentium IV 2 GHz 以上のプロセッサを搭載した Intel PC (または互換機)
- FireWire カード用に 1 つの空き PCI スロット
- 512 MB 以上の RAM
- サポートされているオペレーティングシステム
 - Microsoft Windows XP SP3 (32 bit)
 - Microsoft Windows Vista (32 bit)
 - Microsoft Windows 7 (32 bit)
 - Microsoft Windows 7 (64 bit)

参考資料

コダック i1800 シリーズスキャナに関するマニュアルには、次のものがあります。

- 『クイックガイド』 A-61556_ja — このユーザーズガイドの要約版で、基本的なスキャナの使用方法などに関するクイックリファレンスとしてご利用いただけます。
- 『明るさおよびコントラストの制御機能リファレンスガイド』 A-61587_ja — 独自のカスタムカラーテーブルを作成できる明るさおよびコントラストの制御機能の使用に関する情報と手順が記載されています。
- 『スキャンセットアップガイド』 A-61580_ja — コダック Scan Validation Tool に関する情報や、TWAIN データソースまたは ISIS ドライバを使って設定できる、i1800 スキャナの機能に関する説明を記載しています。
- オンラインヘルプ — TWAIN データソースや ISIS ドライバの使用時に利用できます。
- 『パッチコードの情報』 A-61599_ja — パッチコードの詳細な仕様が記載されており、カメラ対応パッチが含まれています。
- 『Installation Planning Guide』 A-61578_ja — スキャナを正しくインストールするために必要な、サイト仕様情報を提供しています。
- 消耗品およびアクセサリ、A-61403_ja — すべてのコダックスキャナ用の消耗品やアクセサリが記載されています。
- 『White Background Accessory Instructions』 A-61576_ja — 白バックグラウンドアクセサリに付属している説明書で、アクセサリの取り付け方法が記載されています。
- 『高解像度プリンタ用アクセサリガイド』 A-61591_ja — 高解像度プリンタの使用法およびメンテナンスの手順について説明します。

- 『**Ultra-Lightweight Feeder Accessory Instructions**』 A-61577_ja — 薄紙専用フィーダアクセサリに付属している説明書で、薄紙専用フィードモジュールの使用 방법이記載されています。
- 『**Kodak Manual Feeder for i1800 Scanner**』 A-61559_ja — 手動フィーダをご購入の場合、このマニュアルには手動フィーダのインストール、使用 방법이記載されています。

サービス、サポートへの 連絡方法

保証および使用許諾契約の一環として、熟練のコダック フィールドエンジニアによる電話またはオンサイトのサービスをご利用いただけます。利用できる時間については、使用許諾契約を参照してください。

コダック サービスセンターには、専門知識のあるスキャナオペレータの方がお問い合わせください。また、以下の情報を事前にご確認、ご用意ください。

- スキャナの上部カバーにある K 番号。
- サマリログファイルに表示されるエラーコード番号も含めた、質問や問題に関する簡単な説明。詳細は第 6 章の「トラブルシューティング」を参照してください。
- 確実に連絡できる連絡先の担当者名と電話番号。

電話番号：

- 米国およびカナダ：

コダックフィールドサービス：1-800-356-3253

Kodak Professional Services：1-800-525-6325

最新の情報に関しては次を参照してください：

www.kodak.com/go/dicontacts。

- スキャナを設置したコダックフィールドエンジニアが、最寄りのサポートセンターの連絡先電話番号と連絡方法をお知らせいたします。

フィールドサービスに電話をかけた場合、担当者が連絡先のお名前と電話番号をお聞きいたします。その後、折り返しコダック フィールドエンジニアから連絡させていただきます。

サービス契約をご購入いただいている場合は、この方法でご指定の場所での予防的なメンテナンスをスケジュールすることもできます。

コダック認定テクニカルトレーナー（CTT：Certified Technical Trainer）によるスキャナオペレータのトレーニングについては、Professional Services までお問い合わせください。

- 以下のプロフェッショナルサービスもご利用ください。
 - スキャナを最適なパフォーマンスで長時間稼働させるための、予防的なメンテナンスサービス。
 - スキャナを別の階、別の建物、または外国に移動する場合、スキャナ再設置サービス。輸送中に発生した損傷は、保証や使用許諾契約の対象外となり保証されません。輸送のお手伝いをするために、コダック は i1800 シリーズスキャナ用に設計された梱包資材を使って、スキャナを梱包いたします。また、スキャナの開梱と、目的地での機器動作テストもコダック が行います。
 - コダックキャプチャソフトウェアアプリケーションの開発。スキャナでコダック ソフトウェアを利用する場合、独自のアプリケーション開発を支援するための熟練の専門家を派遣することができます。
 - コンサルティングサービス。

安全性に関する情報

警告ラベル



注意：可動部品。接触を避けること。



注意：高温。接触を避けること。

MSDS

製品安全データシート (MSDS) は、コダックウェブサイトで見ることができます (www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品およびカタログ番号については、第 5 章の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

ユーザへの注意事項

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。これに限りませんが、注意事項として以下のものがあります。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンを外さないようにしてください。
- 外れやすい装身具、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、吸い込まれそうな小さな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いいたします。

ガススプリングに関する警告

ガススプリングを自分で修理しようとししないでください。これらのスプリングは、コダックフィールドエンジニアに交換を依頼してください。

環境に関する情報

- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダック i1800 シリーズスキャナはエナジースターに準拠しており、出荷時には 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集／回収プログラムの詳細については、最寄のコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

電池に関する情報

本製品にはリチウムイオンボタン電池が使用されています。資格を持ったサービス担当の技術者のみが、この電池の取り外しや交換を行うことができます。

EMC 声明

重要：高周波放出に関する法規や規制を満たすためには、提供されているシールドデータケーブルを使用してコダック i1800 シリーズスキャナをインストールしてください。他のデータケーブルを使用する場合も、規制に準拠するシールド性能を備えたケーブルを選んでください。

米国

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス A デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。住宅地でこの装置を使用すると、電波障害が起きる可能性があります。その場合はユーザの負担による解決が必要になることがあります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

台湾

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

中華人民共和國

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

声明，该产

此为A级产品，在生活环境中品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施

韓国

この装置は、業務用の ENC 登録規格を取得しています。誤って販売または購入された場合は、家庭用の装置と交換してください。

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 판매 또는 구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

ヨーロッパ連合

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 db(A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70 dB (A) 以下。]

電源システム接続

この製品は、相電圧 230 V のノルウェーの IT 電源システム向けにも設計されています。

Netzanschluß

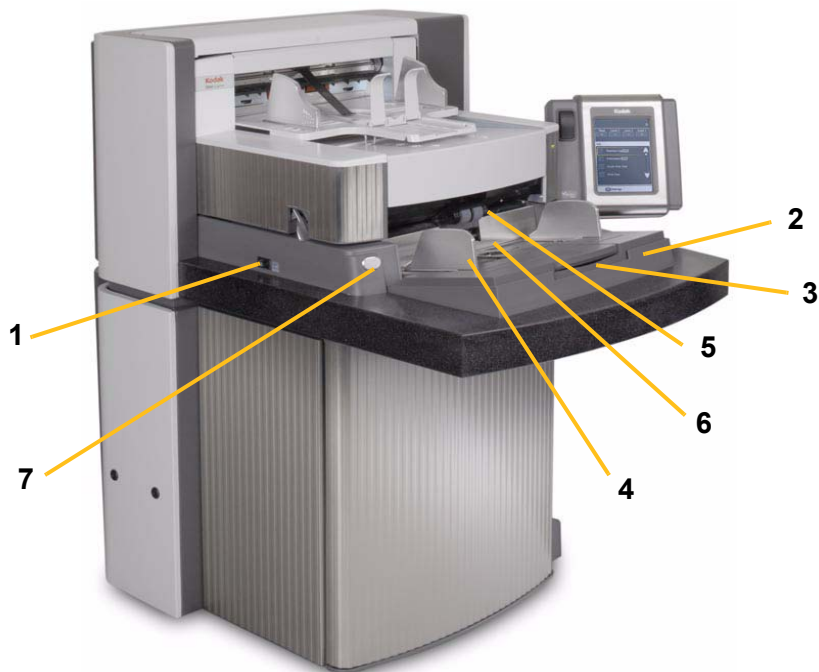
Das Gerät ist auch für die Verwendung im norwegischen IT-Stromsystem mit einer Leiterspannung von 230 V geeignet.

Connexion aux systèmes d'alimentation électrique

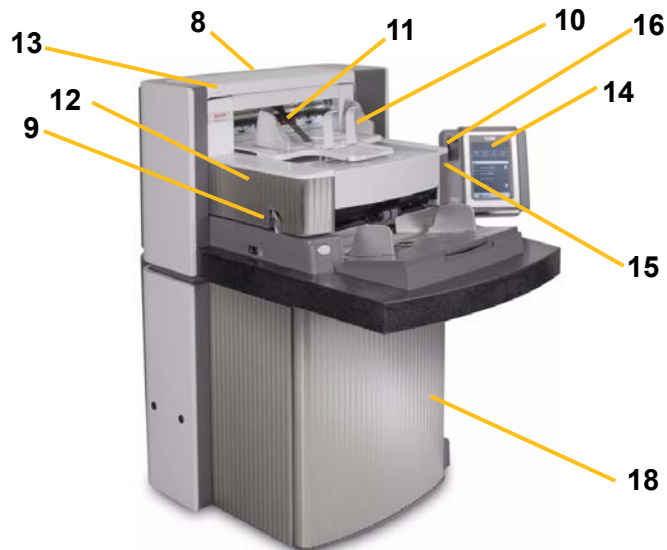
Ce produit est également conçu pour les systèmes norvégiens d'alimentation électrique informatique, dont la tension par phase est de 230 V.

2 スキャナの概要

スキャナーのコンポーネント 前面部



- 1 **電源スイッチ** — 必要に応じて電源スイッチを押し、オン (I) またはオフ (O) にします。
- 2 **入力エレベータ** — スキャンする原稿を保持します。入力エレベータには、25 枚、100 枚、250 枚、または 500 枚の原稿 (20 ポンドのボンド紙の場合) を収納するように設定することができます。
- 3 **延長入力エレベータ** — 長尺原稿を収納する場合は、延長入力エレベータを開きます。
- 4 **エレベータトレイのサイドガイド** — スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを内側または外側にスライドします。サイドガイドは、原稿の幅に合わせて、左、中央、および右に調整できます。必要に応じて、サイドガイドを適切な位置にロックすることもできます。
- 5 **フィードモジュール** — 様々なサイズ、厚さ、および素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 6 **用紙センサ** — 入力エレベータにある原稿を検出します。
- 7 **ギャップリリースボタン** — 特別な処理を必要とする原稿用に、フィードモジュールとセパレーションローラ間のスペースを手動で調整できます。

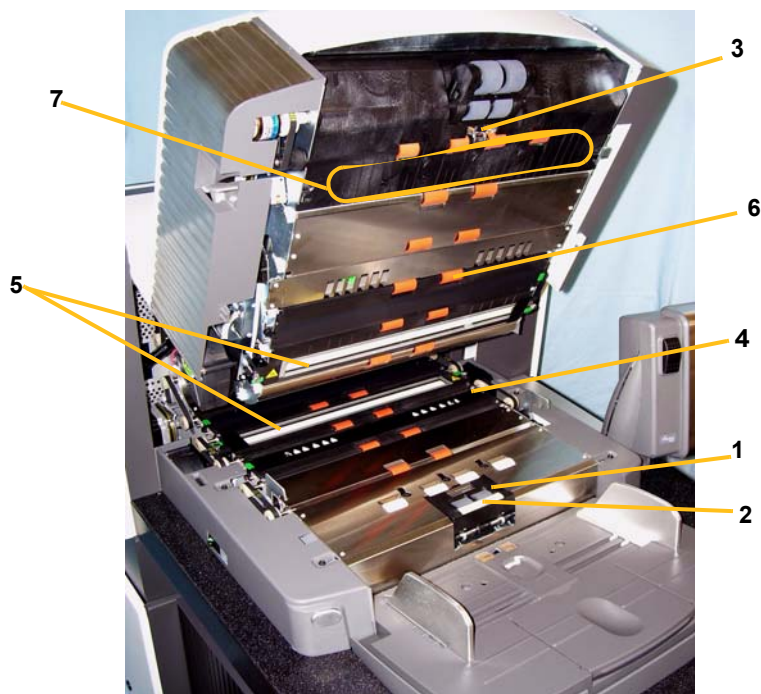


- 8 サービス K 番号 — コダックサービスに問い合わせる場合、このステッカーに記載されている番号を伝える必要があります。
- 9 ポッドリリースラッチ — スキャナの内部を操作する必要がある場合は、ポッドリリースラッチを押し上げます。
- 10 出力トレイおよびエンドストップ — スキャンした原稿がたまる部分です。出力トレイの幅およびエンドストップの長さは調整できます。
- 11 排紙デフレクタ — 原稿のスタックを補助します。
- 12 プリンタアクセスカバー — プリンタの位置を変更したり、プリンタの保守を行う場合に、このカバーを開いてプリンタ前面にアクセスします。
- 13 上部アクセスカバー — プリンタの位置を変更したり、プリンタの保守を行う場合に、このカバーを開いてプリンタ背面にアクセスします。
- 14 タッチ画面 — このタッチ画面を使って、さまざまな機能を実行することができます。これらの機能の使用方法は、第 3 章の「スキャナの使用方法」を参照してください。スキャナを移動する場合、出入り口を通したり、狭い場所に合わせるために、タッチ画面を回転することができます。
- 15 LED — スキャナが節電／エナジースターモードの場合は緑色で点滅します。スキャナが待機状態でスキャン可能な場合は、緑色が常時表示されます。
- 16 作業テーブル高さ調節スイッチ — スキャナの作業テーブルを上下に移動する場合に使用します。作業テーブルは、およそ 10 インチ上下に移動することができます。
- 17 高さ調整ワイヤ — 出力トレイの下にあり（写真では見えませんが）、このワイヤを引き出して出力トレイの前部を高くできます。

- 18 ストレージポケット — キャリブレーションシートや原稿を手軽に保管することができます。

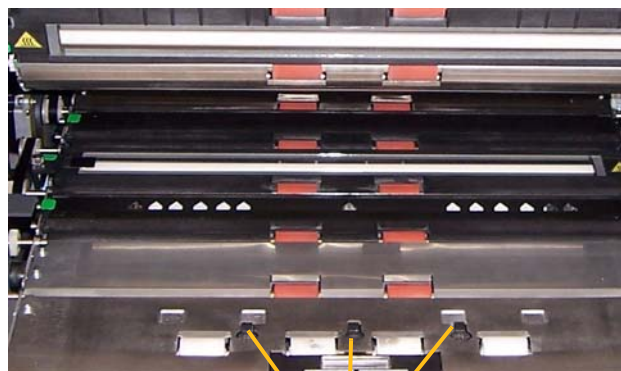


内部コンポーネント



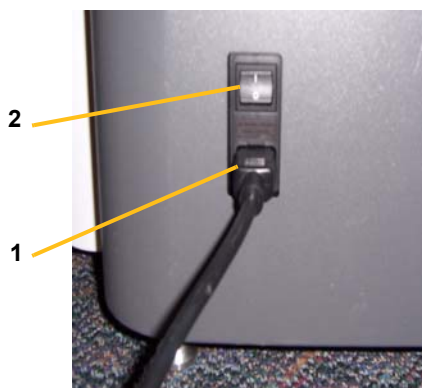
- 1 **セパレーションローラ** — 様々なサイズおよび素材の原稿を一枚ずつスムーズに給紙します。
- 2 **プリセパレーションパッド** — 様々なサイズおよび素材の原稿を一枚ずつスムーズに給紙します。
- 3 **原稿センサ** — 給紙時に搬送路に原稿があるかどうかを検知します。
- 4 **インクプロッタストリップカバー** — インクプロッタストリップにアクセスする場合に、このカバーを取り外します。インクプロッタストリップは、拡張プリンタからゴミを収集します。
- 5 **イメージングガイド** — スキャナには、上側イメージングガイドと下側イメージングガイドがあります。最適なイメージ品質を得るために、イメージングガイドを清潔に保つことが重要です。
- 6 **ローラ** — 搬送路に原稿を搬送します。
- 7 **パッチリーダー** — これら4つのパッチリーダーを使ってパッチを読み取るように設定できます。パッチリーダーは、スキャンソフトウェアを使って有効にできます。

- 8 **重送検知センサー** — このスキャナには、3つの（超音波）重送検知センサーがあります。これらのセンサーは、搬送路に複数の原稿が送られる重送を検知する目的で使用されます。



センサー

後部



- 1 **電源コード接続口** — スキャナに電力を供給します。スキャナには、複数の電源コードが含まれています。環境に適した電源コードを選択し、接続します。まず電源コードをスキャナに接続し、次に壁のコンセントに差し込みます。
- 2 **主電源スイッチ** — スキャナに電源を供給するには、このスイッチをオンにする必要があります。
- 3 **後部アクセスドア** — スキャナの背面にアクセスする場合に使用します（この図には記載されていません）。
- 4 **FireWire（IEEE-1394）接続** — FireWire ケーブルを接続します。

3 スキャナの使用法

この章では、以下の操作手順について説明します。

- スキャナの電源のオン／オフ
- スキャナの開始／停止
- 原稿の準備
- 入力エレベータの調整
- 出力トレイの調整
- スキャナの高さの調整
- 原稿のスキャン
- 自動給紙、連続給紙、手動給紙
- タッチ画面の使用

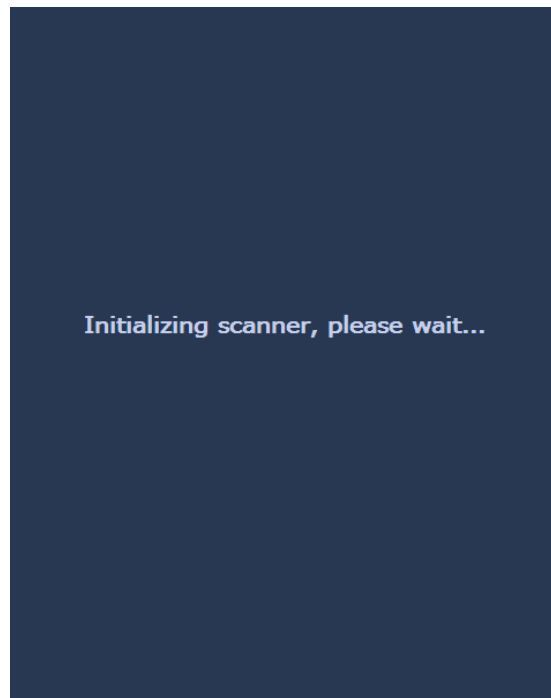
スキャナの電源をオンにする

i1800 シリーズスキャナには、2 つの電源スイッチがあります。主電源スイッチは、スキャナ背面の左下、電源コードの側にあります。

1. まず、主電源スイッチをオンにします。通常的环境下では、主電源スイッチはオンの状態にしてください。
2. 主電源スイッチをオンにしたら、スキャナの左側にある電源スイッチをオン (I) にします。



スキャナの電源をオンにしたら、次の画面が表示されます。



スキャナの電源投入シーケンスが完了すると、待機画面が表示されます。待機画面の詳細は、この章の後半にある「タッチ画面の使用」を参照してください。

重要：必ずホストコンピュータの電源を入れ、準備完了状態にしてから、スキャナの電源を入れてください。

スキャナの電源をオフにする

- スキャナの左側にある電源スイッチをオフ（O）にします。

注意：

- スキャナを移動するなどの理由がない限り、主電源スイッチをオフにする必要はありません。
- スキャナ下部には4つの高さ調整脚があります。スキャナを移動する場合は、これらの調整脚を上げる必要があります。スキャナを移動して別の場所に配置する場合は、あらかじめコダック サービス担当までお問い合わせください。

スキャンの開始および停止

スキャナは、キャプチャソフトウェアアプリケーションにより制御されます。スキャンの開始と停止の手順については、アプリケーションソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

原稿の準備

コダックのスキャナは、最も一般的な業務で使われるさまざまな種類の原稿や原稿でテストされています。以下に示した推奨する原稿の仕様範囲内で原稿をスキャンすると、スキャナの最適なパフォーマンスを得られます。この仕様範囲外で原稿をスキャンした場合、スキャナの信頼性、イメージ品質、寿命において好ましくない結果を招くことがあります。

用紙：

- 未使用紙、再生紙、および印画紙
- この項で記載されたサイズおよび厚さの要件を満たす保護用クリアシート

用紙の種類：ボンド、レーザー、インクジェット、オフセット

用紙重量：入力エレベータは、45 ~ 200 g/m²（12 ~ 110 ポンド）の幅広い用紙重量に対応しています。薄紙専用コダック フィーダキットは、25 ~ 75 g/m²（7 ~ 20 ポンド）の用紙重量に対応しています。

原稿の最小サイズ：6.4 x 6.4 cm（2.5 x 2.5 インチ）。

原稿の最大サイズ：30.5 x 101.6 cm。43 cm（17 インチ）より大きい原稿の場合は、オペレータの操作やオプションの延長エレベータが必要になることもあります。

用紙上のインク：スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクが乾いていることを確認してください。インクには、標準オフセット印刷用、インクジェットプリンタ用、熱転写用、手書き用などがあります。

修正液：Liquid Paper®、Tipp-Ex®、Wite-out®、およびその他の類似する修正液を使用している場合、完全に乾くまでスキャンしないでください。

フィーダ容量：入力エレベータには、最大 500 枚の 75 g/m² (20 ポンド) 用紙を収納できます。

スキャンを開始する前に、スキャナに原稿が問題なく給紙できることを確認してください。

- スキャナに給紙する原稿の束は、フィードモジュールの下に先端を揃えて配置する必要があります。これにより、原稿をフィーダで 1 枚ずつスキャナに搬送することができます。
- 原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が損傷を受ける場合があります。ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。
- 角が欠けている、端にミシン目がついている、余白にパンチによる穴がある、端が不揃いで曲がっている、破れたりしわになっているページがある原稿でも、このスキャナでは問題なくスキャンすることができます。このような原稿は、手動で給紙しなければならないこともあります。
- サイズの異なる原稿をまとめてスキャンする場合は、原稿の先端を揃えるだけでなく、原稿の左端または右端も揃えて配置してください。こうすることにより、オフセット給紙が可能になります（特に拡張プリンタを使用する場合）。
- 破損した原稿をスキャナに搬送できるかどうか不確かな場合は、原稿を保護用クリアシートに入れます。このとき、原稿の先頭の端をクリアシートの閉じている方の端に合わせます。シートは 1 枚ずつ手動で給紙する必要があります。ギャップリリースボタンを使用しながら、端が閉じている方から給紙してください。プラスチックのシートを使用する場合、超音波重送検知機能の使用は推奨いたしません。

注：透明の保護カバーに入った原稿をスキャンする際は、カバーの幅に合わせて入力エレベータのサイドガイドを調節する必要があります。

入力エレベータの調整

サイドガイドの調整

1. 入力エレベータに原稿をセットします。
2. 原稿に合わせてサイドガイドを調整します。サイドガイドは、給紙するもっとも幅の広い原稿を配置できるだけ、十分な幅を確保してください。



給紙位置の選択

サイドガイドは、右端、左端、または中央から給紙するように調整することができます。両方のサイドガイドを移動して中央から給紙することも、どちらか片方を動かして右端または左端からオフセット給紙することも可能です。

拡張プリンタを使用する場合、印字文字が正しい位置に配置されるように原稿を入力エレベータにセットする必要があります。そこで、オフセット給紙が必要な場合もあります。

左揃えまたは右揃えに揃えたサイズの異なる原稿をまとめてスキャンする場合は、それに合わせてサイドガイドを調節し、オフセット給紙を行ってください。

サイドガイドのロック

サイドガイドを調整した後、その位置にロックすることができます。ロックは、印字文字の配置が重要になる場合に役立ちます。

サイドガイドをある位置にロックする場合、入力トレイにある原稿を移動してから、ロックスイッチを「ロック」ポジションに移動してください。



入力エレベータの高さの調整

入力エレベータには、25 枚、100 枚、250 枚、または 500 枚の原稿（20 ポンドのボンド紙の場合）を収納するように設定することができます。入力エレベータの設定は、TWAIN データソースまたは ISIS ドライバを使って行います。

注：このマニュアルでは、25 枚が最上位の設定を、500 枚が最下位の設定を表します。

高さは、入力エレベータに一度にセットする原稿数に基づいて調整してください。

25 枚に設定した場合（ドキュメントフィーダまたは通常）、入力エレベータの位置は変わりません。100、250、または 500 枚に設定した場合、指定された枚数の原稿を給紙するために入力エレベータが自動的に上がり、最後のドキュメントを給紙し終わったら自動的に下がります。

入カトレイの幅の調整

- 14 インチ以下の原稿の場合、調整する必要はありません。
- 長さが 14 ～ 17 インチの原稿の場合は、入力エレベータ延長部を開いてください。



- 17 インチを超える長さの原稿をスキャンする場合は、延長トレイが必要です。43 cm（17 インチ）～ 101.6 cm（40 インチ）の原稿をスキャンするために、3 種類のサイズの延長トレイが用意されています。詳細は第 5 章の「部品の注文」を参照するか、最寄りのコダックフィールドエンジニアまでお問い合わせください。

延長トレイの取り付け

- 延長トレイの終端を入力エレベータの穴に挿入し、延長トレイを正しい位置に取り付けます。



出カトレイのオプション

スキャナ出荷時には、標準の出カトレイと、短いドキュメントトレイが同梱されています。短いドキュメントトレイは、長さ 15.2 cm (6 インチ)、幅 13.9 cm (5.5 インチ) 未満の原稿をスキャンする場合に使用します。詳細は、「短いドキュメントトレイの調整」を参照してください。

出カトレイの調整

出カトレイは、目的に応じて任意の位置に調整することができます。出カトレイの最適な位置は、用紙のサイズと重量、および一度に出カトレイに排出される枚数によって決まります。

サイドガイドの調整

- 出カトレイのサイドガイドは、入力エレベータのサイドガイドの位置と合わせてください。



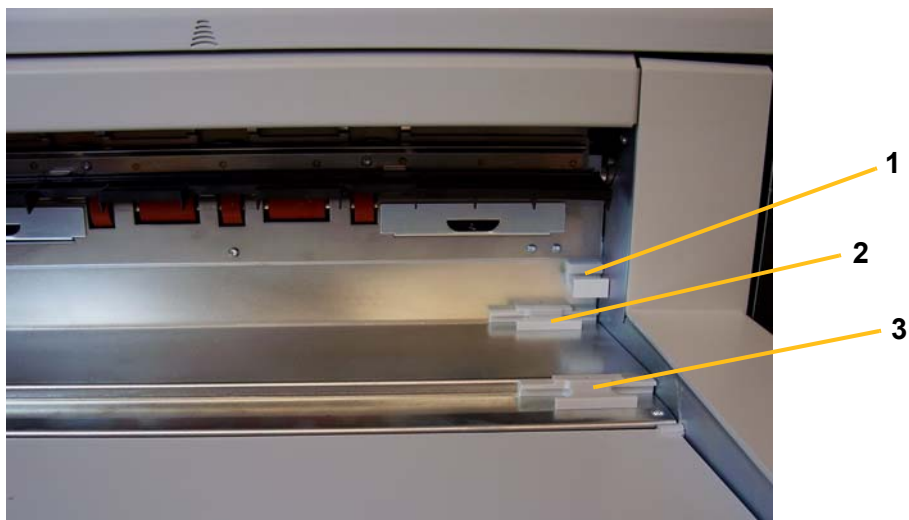
43.2 cm (17 インチ) 以下の 原稿用出カトレイの調整

原稿に合わせて出カトレイの長さを調整する場合、出カトレイの位置と角度の調整、エンドストップの位置設定、または終端を取り外して延長トレイを取り付けるなどの作業を行います。出カトレイの位置を調整する場合は、以下の表を参考にしてください。

位置	スタック容量	エンドストップを使って収納できる最大原稿長
1	250 枚までの原稿	35.6 cm (14 インチ)
2	500 枚までの原稿	35.6 cm (14 インチ)
3	500 枚までの原稿	43.2 cm (17 インチ)

出カトレイの調整

出カトレイは 3 段階に位置を調整できます。



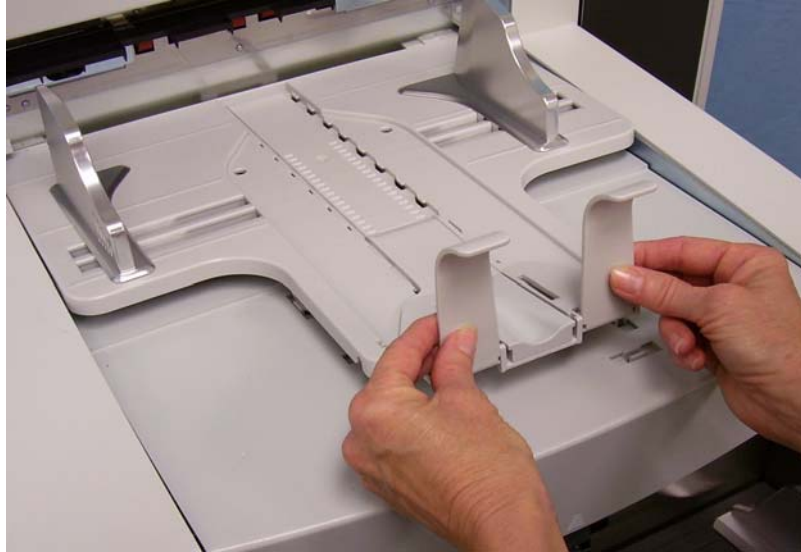
1. 出カトレイの前部を持ち上げ、外に引き出します。



2. 必要に応じてトレイの後部を上部 (1)、下部 (2)、または前部 (3) にセットします。

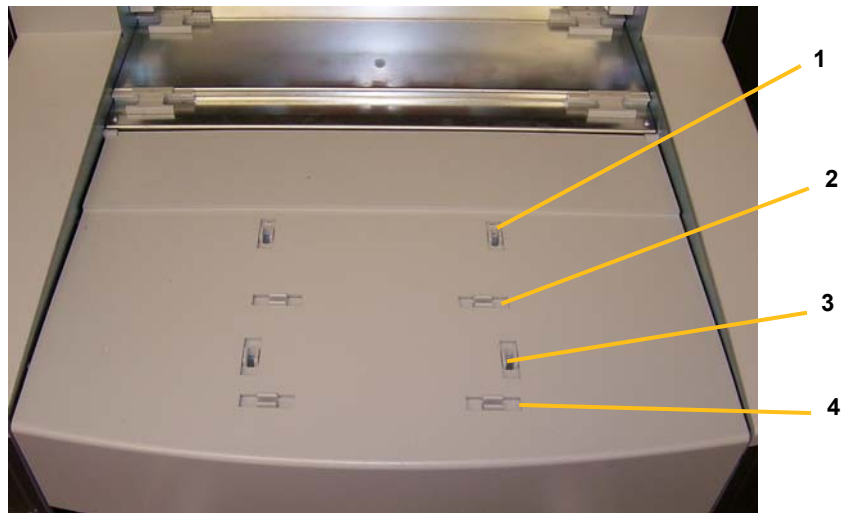
エンドストップの調整

給紙する一番長い原稿より少し長めになるように、出カトレイのエンドストップを調整します。



出カトレイの角度の調整

出カトレイの後部を調整するだけでなく、出カトレイの下部にある高さ調整ワイヤを回してトレイの全部を特定の位置に設定することもできます。



1. 出カトレイの前部を持ち上げます。

2. 出カトレイの下にある高さ調整ワイヤを回して外し、プリンタアクセスカバーの溝に挿入します。



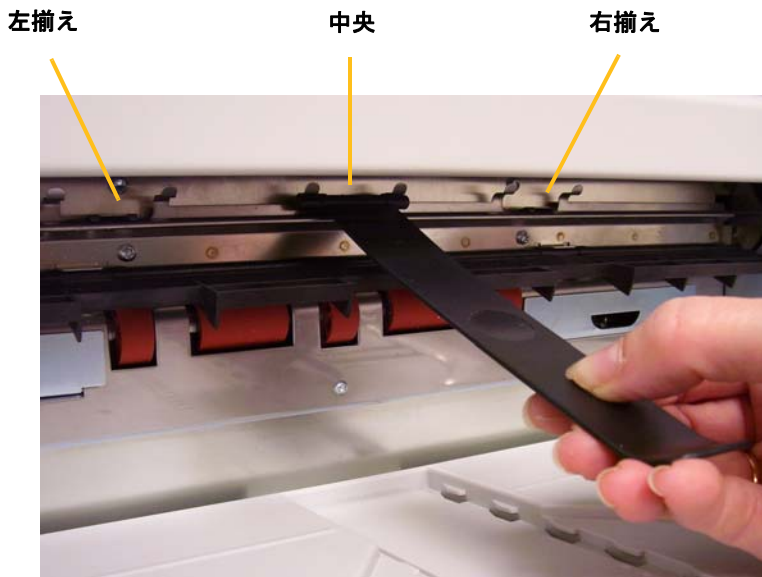
3. この位置での出カトレイの使用を終了したら、高さ調整ワイヤを元の位置に戻し、出カトレイを下げます。

排紙デフレクタ

排紙デフレクタは、原稿のスタックを補助します。薄紙の原稿を給紙する場合は、排紙デフレクタを取り外すことをお勧めします。

排紙デフレクタは、保持クリップから静かに引き出すことにより、簡単に取り外すことができます。排紙デフレクタは3段階に位置を調整できます。

- 原稿を左揃えで給紙する場合、排紙デフレクタを左揃えに配置することをお勧めします。
- 原稿を中央揃えで給紙する場合、排紙デフレクタを中央に配置することをお勧めします。
- 原稿を右揃えで給紙する場合、排紙デフレクタを右揃えに配置することをお勧めします。



注：幅広い原稿や用紙重量が大きい原稿を給紙する場合用の排紙デフレクタも用意されています。この排紙デフレクタ（部品番号：3E9575）のご注文は、最寄りのコダック フィールドエンジニアにお問い合わせください。

**出力トレイの調整（43.2 cm
（17 インチ）～ 101.6 cm
（40 インチ）の原稿の場合）**

17 インチを超える長さの原稿をスキャンする場合は、延長トレイが必要です。43.2 cm（17 インチ）～ 101.6 cm（40 インチ）の原稿をスキャンするために、3 種類のサイズの延長トレイが用意されています。詳細は第 5 章の「部品の注文」を参照するか、最寄りのコダックフィールドエンジニアまでお問い合わせください。

1. エンドストップを取り外します。



2. 延長トレイの終端を出力トレイの穴に挿入し、延長トレイを正しい位置に取り付けます。



短いドキュメントトレイの調整

1. 出カトレイのエンドストップを取り外します。
2. 短いドキュメントトレイを出カトレイのレールに取り付け、原稿に合わせて適切な位置にスライドします。



3. 必要に応じてサイドガイドを調整します。

スキャナの高さの調整

作業テーブルは、一番下の位置から約 25.4 cm (10 インチ) 上まで上げることができます。スキャナの作業を座って行うか、または立って行うかなど、作業状況に応じて適切な高さに調整してください。作業テーブルを上下に移動する場合、移動範囲内に障害物（椅子、テーブルなど）がないことを確認してください。

- 作業テーブルを上移動するには、コントロールパネルのボタンの上部を押します。
- 作業テーブルを下移動するには、コントロールパネルのボタンの下部を押します。



作業テーブルが上または下に移動しない場合は、以下の事柄を確認してください。

- 前部／後部アクセスドアが正しく閉じられているかどうか。
- 作業テーブルが、すでに一番上または一番下の位置に移動していないか。
- スキャナの電源が入っているか、また省電力モードになっていないか。

重送検知機能を使用した原稿の給紙

このスキャナには、3つの重送検知センサが搭載されており、それぞれを個別に有効/無効にすることができます。重送検知を使用するときは、少なくとも1つのセンサが原稿を完全に対象とするようにサイドガイドを調整します。センサが原稿の一部しか対象にしていないと、重送が発生する可能性があります。

自動給紙

原稿の束をスキャンするには、「原稿の準備」の項に記載されているサイズ、種類、枚数などに関するガイドラインに従ってください。

より高速に処理するには、入力エレベータに原稿を横長（辺の長い方を前）に置いて給紙します。

重要：原稿がホッチキスやクリップで留められていると、スキャナに損傷を与える場合があります。ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。

1. 束ねた原稿の先端をそろえます。
2. 原稿の束を上向きに入力エレベータに載せます。用紙センサの対象となるように置いてください。

注：コダック i1800 シリーズスキャナー、ファームウェアバージョン 2.1.X（以上）専用：i1800 シリーズスキャナーが稼働中に、エレベータトレイに用紙がセットされると、エレベータは「給紙準備完了」ポジションへ移動します。エレベータトレイを下げる場合は、[エレベータ下降]ボタン（500枚位置まで下降）を押すか、用紙センサーからドキュメントを離すことでエレベータトレイは元の用紙ソース位置（例：250枚、500枚位置など）に戻ります。



お使いのスキャンソフトウェアの設定に応じて、給紙が自動的に開始されることもあれば、タッチ画面のスキャンボタンを押して給紙を開始する必要があることもあります。

連続給紙

スキャンセッションを中断せずに、数束の原稿（25 枚未満）を連続してスキャンする場合は、連続給紙を使用します。

入力エレベータの位置が最上位にある場合、数束の原稿を連続給紙するには、スキャン中の束の下部に次の束を追加します。

1. 束ねた原稿の先端をそろえます。
2. 原稿の束を上向きに入力エレベータに載せます。用紙センサの対象となるように置いてください。

原稿のスキャン中は、いつでもトレイ上の原稿の下にさらに原稿を追加することができます。原稿を追加する場合、原稿全体が常に用紙センサの対象となるように追加してください。



手動給紙

スキャナを手動給紙モードにすると、約 25 枚の原稿をセットできる位置（最上位）まで入力エレベータが上がります。1 回に 1 つずつ原稿を給紙するために、入力エレベータの位置がここに設定されます。

原稿を手動で給紙するには、以下の手順に従います。

1. 用紙センサの対象となるように、給紙する原稿を入力エレベータにセットします。



2. タッチ画面の【スキャン】を選択します。

注：手動フィーダを利用すれば、より広い面を使って手動給紙を行うことができます。詳細は、付録Aの「アクセサリ」を参照してください。

特別な処理を必要とする原稿の給紙

ギャップリリースボタンを使用すると、特別な処理を必要とする原稿（破損の激しい原稿など）用に、フィードモジュールとセパレーションローラ間のスペースを手動で調整できます。破損した原稿をスキヤナに搬送できるかどうか不確かな場合は、ギャップリリースボタンを使用して、原稿を手動で給紙します。特殊な原稿を処理する場合は、連続給紙モードでスキャンすることをお勧めします。

1. 入力エレベータを最上位に移動します。
2. ギャップリリースボタンを押したまま保持します。こうすると隙間の空間が広がって原稿を給紙しやすくなります。



3. 入力エレベータに原稿をセットします。複数枚の原稿をスキャンする場合は、一度に1枚ずつ搬送部に給紙してください。
4. 原稿が搬送部に給紙されたら、ギャップリリースボタンを放します。

オペレータコントロールパネルのタッチ画面の使用

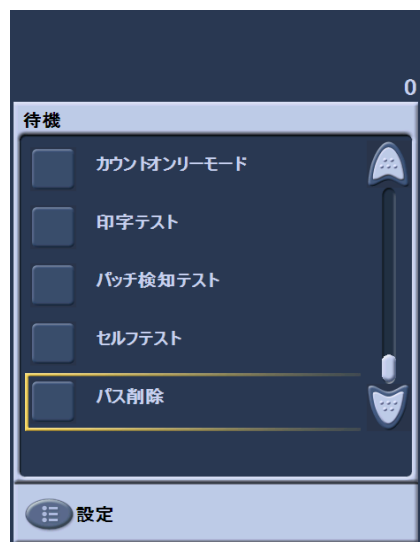
オペレータコントロールパネルのタッチ画面から、さまざまな機能を利用することができます。機能名の後にドットが3つ並んでいる場合、それを選択すると他の選択肢のある新しい画面が表示されます。これらの機能の詳細は、以降のセクションを参照してください。

タッチ画面を使用するには、目的の機能を指で触ってください。指以外の物で触ると、タッチ画面が損傷する可能性があります。また、このような損傷は保証の対象にはなりません。

注意：

- 画面上にすべての機能を表示しきれない場合もあります。このような場合は、画面の右端にある上／下矢印を使って、目的の機能を表示してください。

待機画面 — イメージアドレス管理が有効になっているか、または無効になっているかによって、待機画面の表示内容は異なります。



イメージアドレス管理が無効の場合



イメージアドレス管理が有効の場合

待機画面が表示されている場合、以下の作業を行うことができます。

- オペレータログの表示
- スキャナ情報の表示
- エレベータを下げる
- スキャナをカウントオンリーモードで実行
- 印字テストの実行
- パッチテストの実行
- セルフテストの実行
- 搬送路のクリア

待機モードのほかに、設定画面からスキャナの設定、設定の変更、およびイメージアドレス管理の有効化／無効化などの作業を行うことができます。設定画面では、以下のオプションを設定したり、変更することができます。

- 音量
- トーン
- 言語
- イメージアドレス管理の設定（有効／無効）
- キャリブレーション
- オフセット印刷単位
- デリケート給紙モードを有効にする

[設定]画面

[設定]画面を表示するには、待機画面の[設定]を選択します。[設定]画面には、たまにしか設定する必要のないスキャナ設定オプションが用意されています。

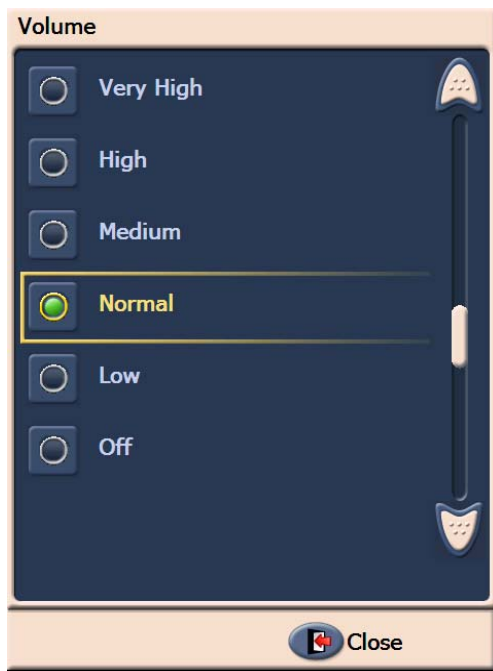
注：オプション名の下には、現在設定されている値が表示されます。



アラーム音量の変更

[ボリューム]画面では、[最大]～[小]の範囲でアラームの音量を変更することができます。また、音を出さない場合は[オフ]を選択することもできます。デフォルト値は[小]です。

1. [設定]画面の[ボリューム]を選択すると、[ボリューム]画面が表示されます。

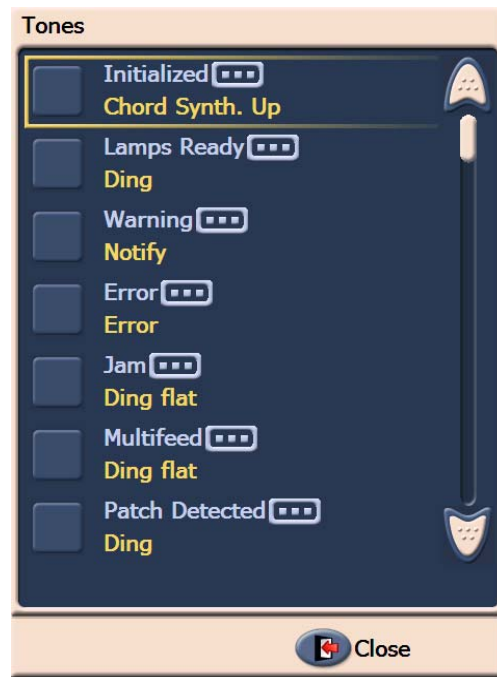


2. 適切なオプションを選択します。オプションを選択すると、トーンが鳴ります。
3. [閉じる]を選択すると、[設定]画面に戻ります。

トーンを選択

紙詰まりや重送など、スキャナが特定の状態になった場合に鳴らすトーンを選択することができます。

1. [トーンを選択]を選択すると、[トーン]画面が表示されます。

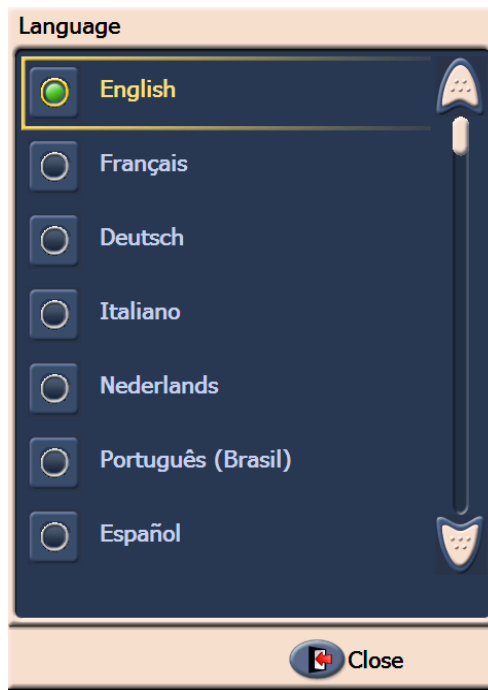


2. トーンを鳴らすイベントを選択します（警告、紙詰まりなど）。イベントを選択すると、新しい画面にさまざまなトーンが表示されます。ここから適切なトーンを選択します。
3. 選択したイベントが発生した時に鳴らすトーンを選択します。オプションを選択すると、トーンが鳴ります。
4. 他のイベントで鳴らすトーンを設定する場合は、[トーン]画面に戻ってステップ2と3を繰り返してください。
5. [閉じる]を選択すると、[設定]画面に戻ります。

言語の選択

コダック i1800 シリーズスキャナは、多言語をサポートしています。タッチ画面に情報を表示する言語を選択してください。

1. **[言語]** を選択すると、**[言語]** 画面が表示されます。



2. 適切な言語を選択してください。選択した言語で画面が表示されます。目的の言語が見つからない場合は、上矢印と下矢印を使って目的の言語を探してください。

設定を変更すると、スキャナの電源を入れ直すように指示するメッセージが表示されます。

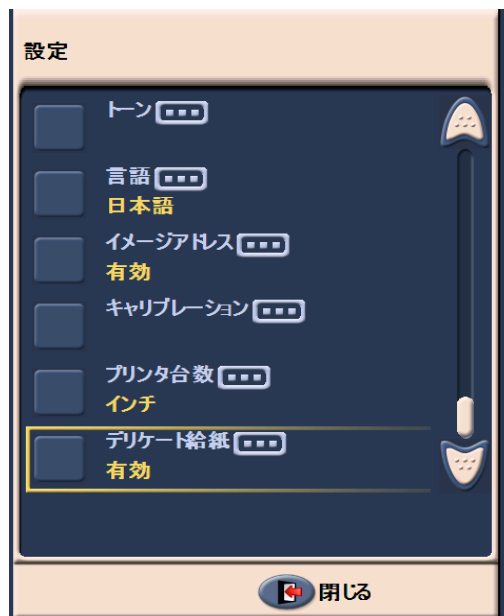
3. **[閉じる]** を選択すると、**[設定]** 画面に戻ります。

イメージアドレス管理の設定 (有効/無効)

イメージアドレスは、各原稿に割り当てられる 30 文字以内の固有の識別子（最高 27 文字 + 3 文字の区切り文字）です。イメージアドレステンプレートは、TWAIN データソースまたは ISIS ドライバを使って設定されます。イメージアドレス管理の詳細は、オンラインヘルプまたはインストール CD に収録されている PDF ファイルの『スキャンセットアップガイド』を参照してください。イメージアドレス管理は、タッチ画面を使って有効/無効にすることができます。

重要：この設定を変更した場合は、スキャンの電源を入れ直してください。

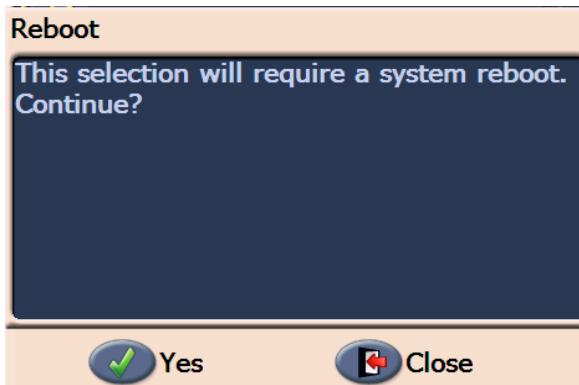
1. 待機画面から、[設定] を選択すると [設定] 画面が表示されます。



2. [イメージアドレス] を選択します。次の画面が表示されます。



イメージアドレスのステータスを変更すると、次のメッセージが表示されます。



3. **【はい】** を選択してイメージアドレスのステータスを変更し、システムを再起動します。再起動しない場合は、**【閉じる】** をクリックします。
4. スキャナを再起動します。

注：イメージアドレス管理を無効にすると、パッチリーダーとバッチも無効になります。トグルパッチ機能は、引き続き利用できます。

スキャナのキャリブレーション

コダック i1800 シリーズスキャナではイメージキャリブレーション（白黒、カラー、グレースケール）および UDDS キャリブレーション（超音波重送検知）が可能です。キャリブレーションによりスキャナを最適化し、最適なイメージ品質と給紙性能を実現することができます。スキャナは出荷時に適切にキャリブレーションされています。そのため、頻りにキャリブレーションを行う必要はありませんし、お勧めもできません。指示があった場合にのみキャリブレーションを行ってください。

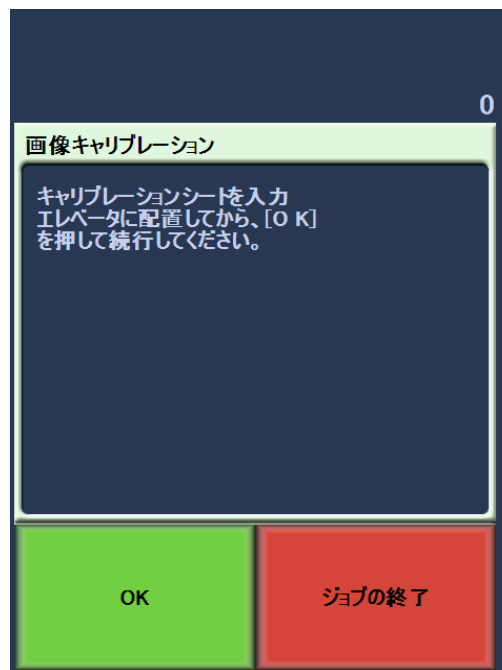
スキャナのキャリブレーションを行う前に、スキャナをクリーニングしてください（クリーニング手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください）。キャリブレーション前にスキャナのクリーニングを行わないと、イメージ品質に問題が発生する可能性があります。

スキャナに付属している、専用のキャリブレーションシートを使用してください。必ず汚れのない適切なキャリブレーションシートを使用してください。キャリブレーションシートは別途注文することができます。注文については、第 5 章の「消耗品およびアクセサリ」を参照してください。

イメージキャリブレーション

重要 : 白バックグラウンドアクセサリが取り付けられている場合は、黒バックグラウンドストリップに交換し、キャリブレーションの前にスキャナを再起動する必要があります。

1. [キャリブレート] を選択します。[キャリブレート] 画面が表示されます。
2. [イメージキャリブレーション] を選択すると、[イメージキャリブレーション] 画面が表示されます。

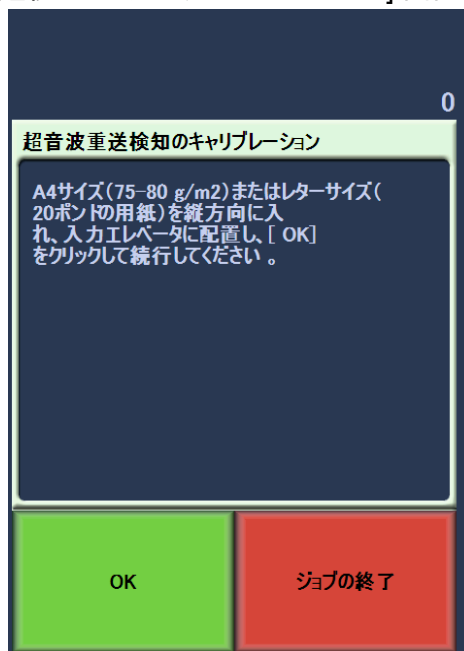


3. 入力エレベータにキャリブレーションシートをセットします。
4. [OK] を選択します。キャリブレーションの結果が表示されます。
5. キャリブレーションが終了すると、待機画面が表示されます。

超音波重送検知 (UDDS) のキャリブレーション

超音波重送検知のキャリブレーションは、超音波重送検知機能をキャリブレーションする場合に用いられます。超音波重送検知のキャリブレーションは、ほとんど実行する必要はありません。給紙や重送検知に関する問題が発生した場合にのみ、このキャリブレーションを行ってください。

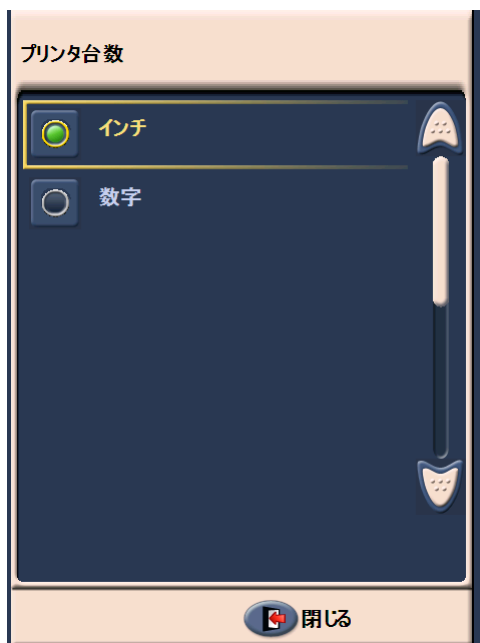
1. **[キャリブレート]** を選択します。[キャリブレート] 画面が表示されます。
2. **[超音波重送検知のキャリブレーション]** を選択すると、[超音波重送検知のキャリブレーション] 画面が表示されます。



3. 入力エレベータに 20 lb. または 75 g/m² のボンド紙をセットするように指示するメッセージが表示されます。キャリブレーションシートは使用しないでください。
4. **[OK]** を選択します。キャリブレーションの結果が表示されます。
5. **[ジョブの終了]** を選択すると、待機画面に戻ります。

プリンタ単位

プリンタ単位オプションでは印刷オフセットオプションで使用する測定単位を設定できます。(インチを選ぶには) 英語または (ミリメートルを選ぶには) メトリックを選択します。



デリケート給紙モード

デリケート給紙モードでは 100、150、または 200 dpi の解像度でスキャンする際に遅いペースで給紙されます。

デリケート給紙モードは以下の場合に役立ちます。

- 脆いドキュメントのスキャン時
- 排紙トレイの積み重ねを改善したい場合
- 異なるサイズのドキュメントのスキャン時



注：

- デリケート給紙モードはスタンバイ状態でないと有効にできません。
- デリケート給紙モードの有効時に算出モードを使用した場合、処理速度は低下します。
- デリケート給紙モードを無効にするにはオペレータによる直接の操作が必要です。
- 100、150、または 200 dpi の解像度でスキャンした場合の処理能力は約 3 割低下します。
- デリケート給紙モードはコダック i1840 スキャナーではご利用いただけません。
- ホストソフトウェアやドライバを変更する必要はございません。

待機画面

待機画面には、ステータスバー、機能リスト、スクロール用矢印、および[設定]ボタンがあります。イメージアドレス管理を有効にしている場合は、イメージアドレスレベルボタンと、バッチカウント情報も表示されます。



メッセージウィンドウ/ステータスバー — 最新のスキヤナ状態や、オペレータメッセージが表示されます。

- ステータスフィールド：現在のスキヤナの動作状況やメッセージが表示されます。たとえば、原稿をスキヤン中の場合はステータスフィールドに「スキヤン中」と表示されます。
- シーケンシャルカウンタ：搬送路を通った原稿数が表示されます。
- バッチカウント：あらかじめ定義されたアクションを実行するまでにカウントする原稿数が表示されます（イメージアドレス管理が有効の場合）。

イメージアドレス情報

- **レベルボタン** — イメージアドレス管理を有効にしている場合、[レベル 3]、[レベル 2]、および [レベル 1] の 3 つのイメージアドレスレベルボタンが表示されます。いずれかのレベルボタンを押すと、イメージアドレスレベルを増やすことができます。スキャンセッション中に強調表示されているレベルボタンが、次の原稿のレベルとして割り当てられます。
- **次のイメージアドレス** — レベルボタン中表示されている値は、次の原稿に割り当てられるイメージアドレスを表しています。

スクロール矢印 — 上矢印や下矢印を触ると、現在タッチ画面上に表示されていない他の機能が表示されます。

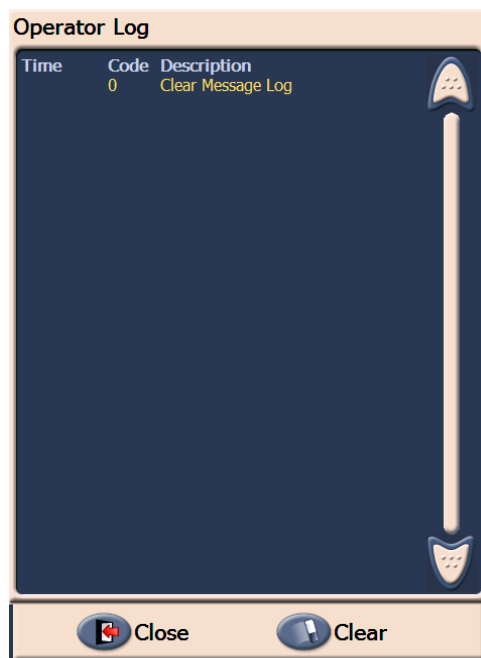
[設定] ボタン — [設定] 画面を表示します。この画面では、音量、言語、トーンを設定したり、イメージアドレス管理を有効/無効にすることができます。

オペレータログ

[オペレータログ] を選択すると、[オペレータログ] 画面が表示されます。この画面には、時刻、メッセージコード、およびメッセージの詳細が表示されます。

ここには、最後にスキヤナの電源を入れた後に発生したメッセージのみが表示されます。スキヤナの電源を切ると、オペレータコントロールパネルに表示されるオペレータログは消去されます。

消去されたオペレータログメッセージを表示する方法については、第 6 章の「トラブルシューティング」を参照してください。

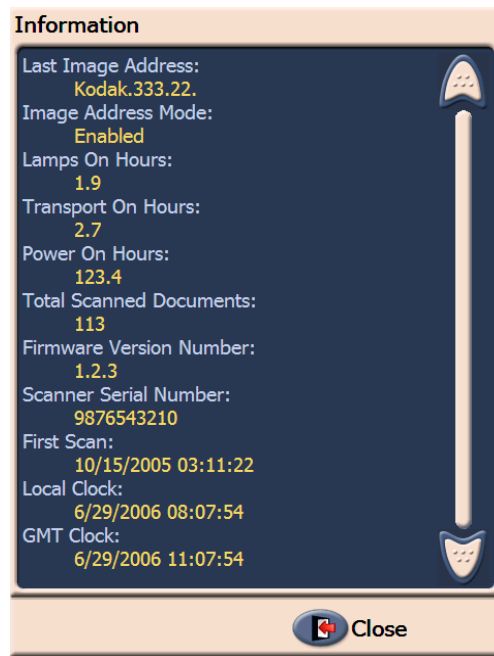


- オペレータログを消去するには、[クリア] を選択します。
- オペレータログを参照した後、[閉じる] を選択すると待機画面に戻ります。

スキャナ情報の表示

この画面には、お使いのスキャナに関する情報が表示されます。イメージアドレス管理を使用している場合は、最後のイメージアドレスの値も表示されます。

1. 待機画面の **[情報]** を選択すると、スキャナ情報が表示されます。

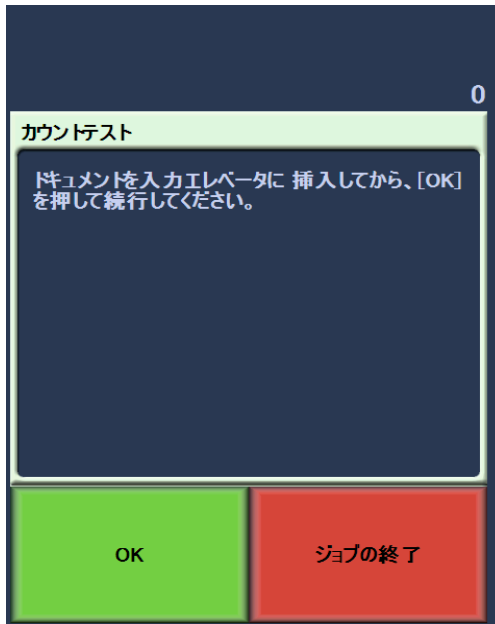


2. この情報を参照した後、**[閉じる]** を選択すると待機画面に戻ります。

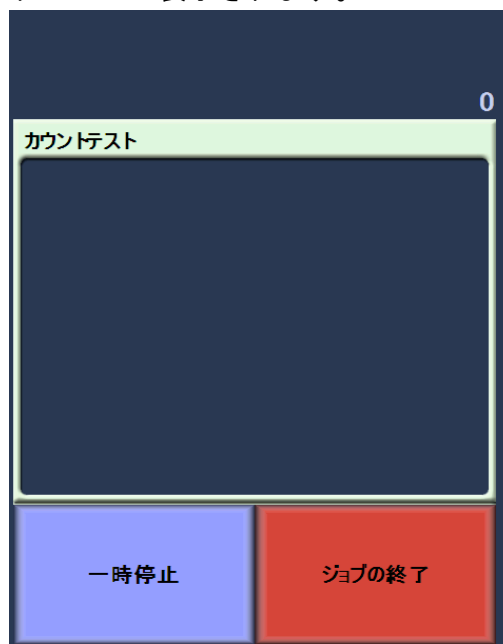
カウントオンリーモード (Count only mode)

実際にスキャンせずに、スキャナを通る原稿の枚数を数えたい場合に、この機能を利用します。

1. **[カウントオンリーモード]** を選択します。**[カウントオンリー]** 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに、枚数を数える原稿をセットします。
3. **[OK]** を選択します。すべての原稿を数え終わったら、総数がステータスバーに表示されます。



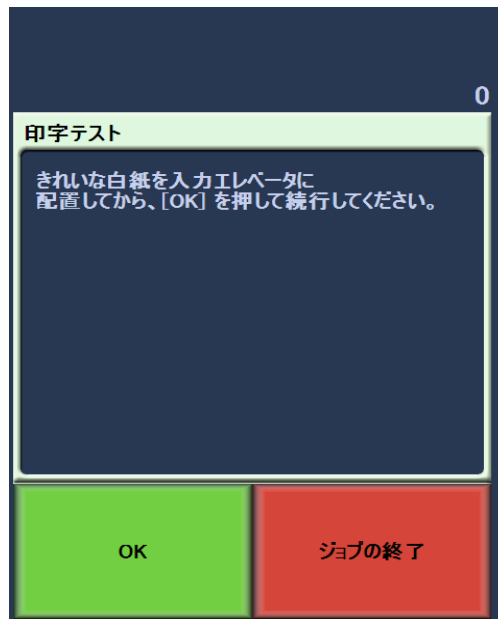
4. **[ジョブの終了]** を選択すると、待機画面に戻ります。

注：[一時停止] ボタンを選択すると、フィーダと搬送が停止します。
[再開] ボタンを選択すると、カウントオンリーテストを再開します。

印字テストの実行

印字テストを実行して、拡張プリンタのインクジェットが適切に機能しているかどうかを確認できます。

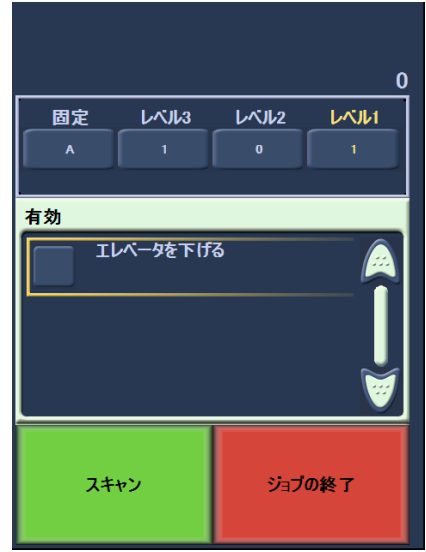
1. **[印字テスト]** を選択します。**[印字テスト]** 画面が表示されます。



2. 入力エレベータに白紙をセットします。
3. **[OK]** を選択します。出力トレイに印字テストの結果を表すドキュメントが表示されます。
4. 出力トレイからドキュメントを取り出して、テスト パターンの外観を評価します。
 - パターンが完全な場合は、印刷を開始する準備が完了しています。
 - パターンがはっきりしない場合は、次の手順を実行します。
 - プリンタのカートリッジが正しく設定されていることを確認します。印字テストを繰り返します。第 4 章の「**拡張プリンタとパッチリーダーの使用法**」を参照してください。
 - それでもパターンがはっきりしない場合は、インクカートリッジを交換してください。
5. **[ジョブの終了]** を選択すると、待機画面に戻ります。

スキャナを使用可能にする

原稿をスキャンするには、スキャナを有効にする必要があります。この作業は、スキャンソフトウェアを使って行います。スキャナを有効にすると、以下の画面が表示されます。



有効 - イメージアドレスはオフ

有効 - イメージアドレスはオン

エレベータ トレイを下げる

エレベータトレイにセットする用紙を増やしたい場合は、[エレベータ下降]オプションを使用してください。このオプションを使用すると、エレベータは500枚位置（底部）まで下降します。



オフセット印刷の変更

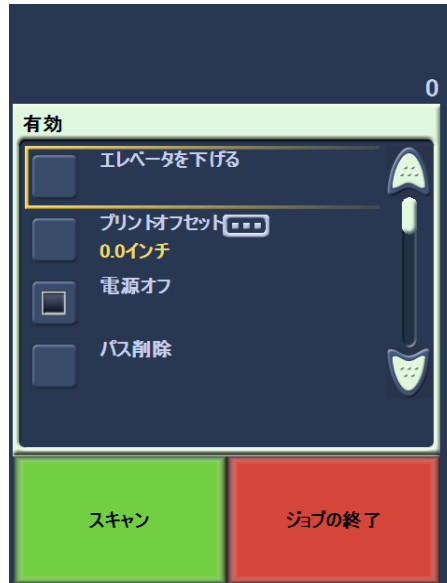
オフセット印刷機能ではドキュメントへの印刷部分を一時的に移動することができます（例えば、一度印刷したドキュメントを再スキャンする必要がある場合など）。この機能はスキャナが有効な場合にのみ使用可能です。

オフセット印刷の位置を変更した場合、変更はスキャナが待機状態に戻るまで有効です。

注意：

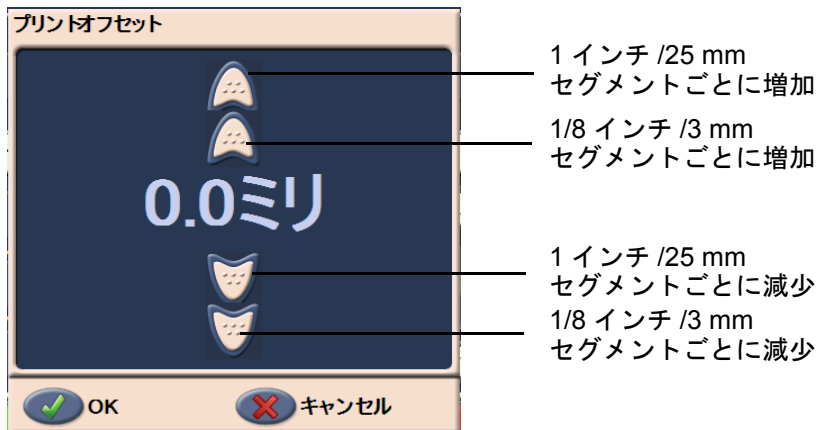
- オフセット印刷オプションはプリンタが有効な場合には、OCPにのみ表示されます。
- スキャナが自動スタートに設定されてる状態で、オフセット印刷機能を最初のドキュメントへの適用を希望する場合には、自動スタートを解除することが推奨されます。
- 重送が発生してもスキャナの有効状態を保ち、効率的にスキャンするために、スキャナを**スキャンの一時停止**（キャプチャアプリケーションソフトウェアの場合）に設定することが推奨されます。
- ドキュメントよりも長い部分にオフセット印刷を設定した場合、ドキュメントへの印刷は実行されません。

1. キャプチャアプリケーションソフトウェアからスキャナと印刷機能を有効にする スキャナを有効にすると、以下の画面が表示されます。



注：ウィンドウに表示される数字はホストアプリケーションから設定された数量と比べた場合の追加オフセットです。オペレータによりオフセット印刷が変更された場合には、この数字は0になります。

2. オフセット印刷の選択 次の画面が表示されます。



3. 上下矢印を使用して、オフセット印刷の数値を（インチまたはミリメートル単位で）増加または現象させます。その印刷は、キャプチャアプリケーションソフトウェアに設定された数値から増加／減少されます。例えば、ドキュメントの先端から1インチ / 25 mmから印刷を開始する設定だった場合に、オフセット印刷ポジションを1インチ / 25 mm 増加させると、印刷は先端から2インチ / 50 mmの位置から開始されます。

注：トップおよび外側最大矢印を使用すると、大きな単位で数値を増加／減少することができます（1インチ / 25 mm 単位）。

中央にもっとも近い内側最大矢印では、1/8インチ / 3 mm 単位で増加／減少することができます。

4. 設定を入力したら、[OK] をクリックします。

プリンタを無効にしています

印刷機能の無効では、バッチのすべてのドキュメントへの印刷を一時的に無効にすることができます。すでに印刷された、ひとまとまりのドキュメントを再スキャンする際に便利です。

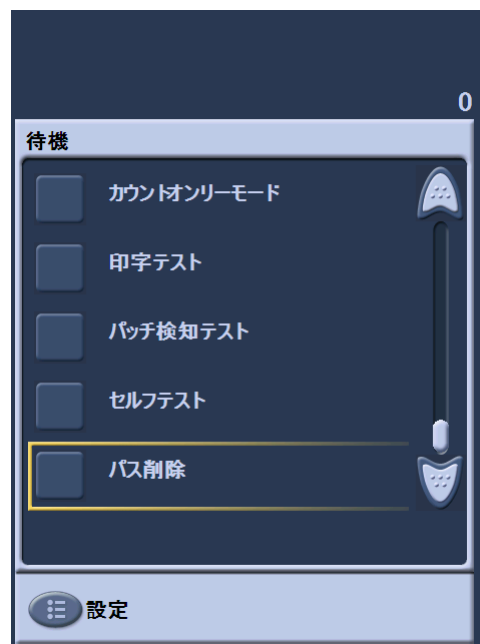
印刷機能の無効は、スキャナが有効にされた後にのみ使用できます（ホスト PC からスキャンが開始された場合）。バッチの最初のドキュメントの印刷を無効にする場合には、ホストソフトウェアの設定では、スキャンを自動的に開始しないを選びます。

印刷の無効ボタンはスキャンアプリケーションによって、印刷が有効にされている場合にのみ使用できます。一度**印刷の無効**が選択されたら、次の操作が行われるまで印刷が行われることはありません：

- **印刷の無効**が取り消される、または
- スキャンするドキュメントがなくなった（ジョブの終了）ためスキャナが無効にされる、または、紙詰まりでマルチフィーダが発生し、スキャンの停止オプション経由でスキャナが設定された場合。

搬送路のクリア

搬送路のクリアオプションはスキャナーの稼働時やスタンバイ時には表示されますが、スキャン中は表示されません。

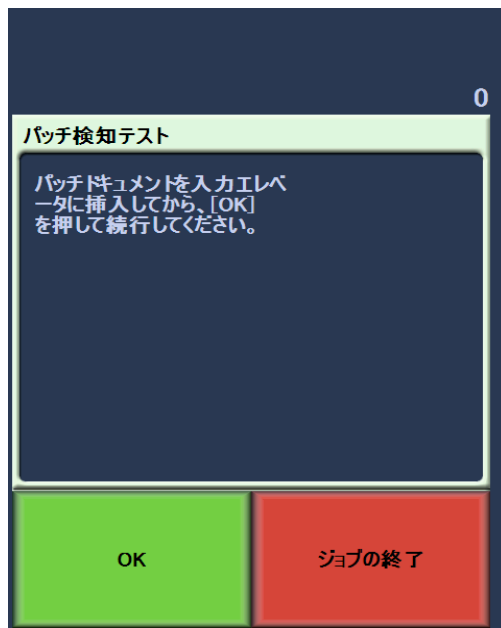


このオプションが選択されると用紙トランスポートが短時間稼働し、スキャナを開かずに搬送路がクリアなことが確認されます。重送検知されるとこのオプションは有効になりますが、紙詰まりが検知されると無効になります。

パッチ検知テストの実行

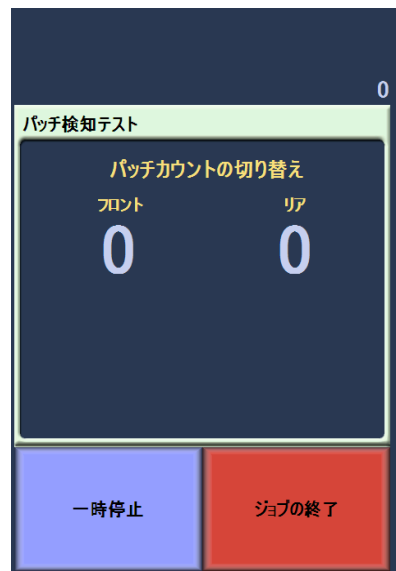
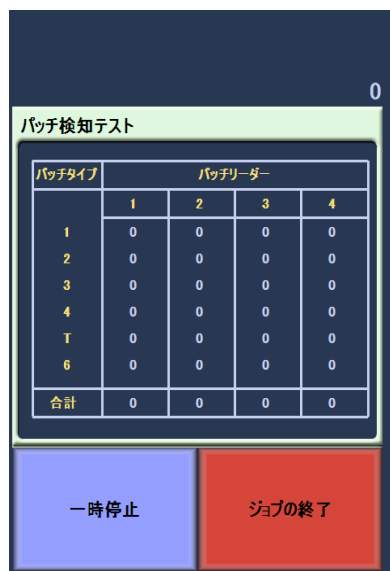
パッチリーダーが正常に動作しており、パッチが正しく読み込まれているかどうかを確認するには、パッチ検知テストを使用します。

1. **[パッチ検知テスト]** を選択します。**[パッチ検知テスト]** 画面が表示されます。



2. パッチのある原稿を入力エレベータにセットします。
3. **[OK]** を選択します。原稿がスキャンされたら、タッチ画面にパッチテストの結果が表示されます。

結果には、スキャナが認識したパッチ数とパッチタイプが表示されます。



イメージアドレス管理が有効の場合 イメージアドレス管理が無効の場合

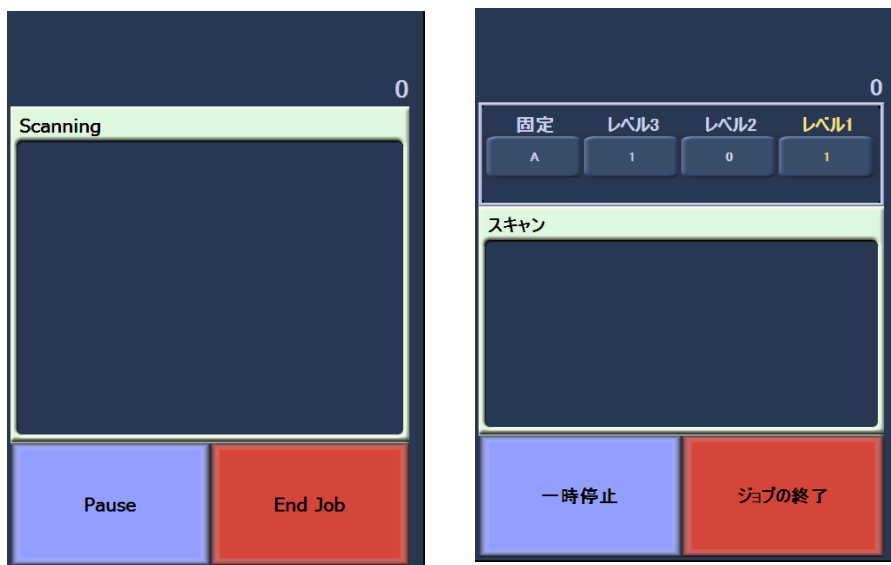
4. **[ジョブの終了]** を選択すると、待機画面に戻ります。

セルフテストの実行

スキヤナのセルフテストでは、イメージキャプチャサブシステムが正しく動作しているかどうかテストされます。

スキヤン

スキヤナを有効にすると、スキヤナの設定に応じてスキヤンが自動的に開始されることもあれば、スキヤンを開始するために【スキヤン】ボタンを選択しなければならないこともあります。以下の画面が表示されます。



スキヤン中 - イメージアドレスはオフ スキヤン中 - イメージアドレスはオン

注：上記の画面に表示されるオプションは、OCP ファンクションキーの設定によって異なる場合があります。

スキヤン中のファンクションキーの使用

タッチスクリーンには、簡単にアクセス可能な機能が表示されます。それらの機能の順番は変更することができません。タッチスクリーンには以下が表示されます：

エレベータを下げる

オフセット印刷（有効な場合）

印刷を無効にする（オフセット印刷が有効な場合）

スキヤン中は、最高で3つまでの付加機能が表示されることがあります。これらの機能は、スキヤンソフトウェアが設定します。表示されるオプションの例を以下に示します。

- パッチ検知をスキップ
- 印字をスキップ
- 重送を省略
- バッチの終了

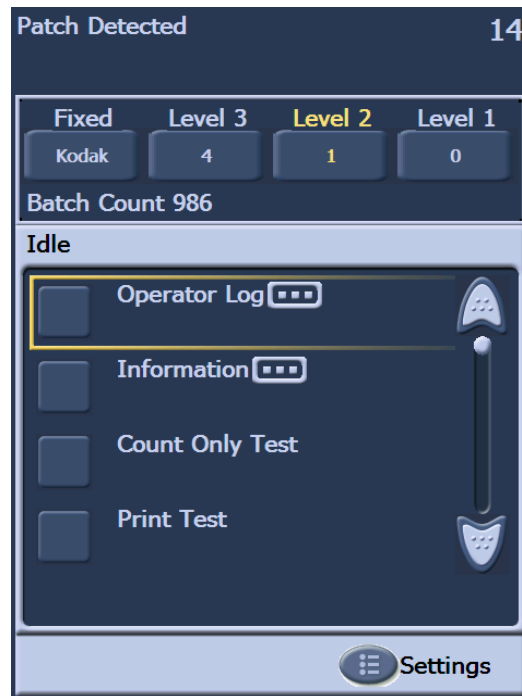
これらの機能を選択するには、目的の機能に触れてください。

イメージアドレスレベルの変更

イメージアドレス管理やスキャンを有効にしている場合、待機画面からイメージアドレスレベルを変更することができます。次のイメージアドレスレベルが強調表示されます。

レベルを変更するには：

- 割り当てるレベルを選択します。



手動によるスキヤナの 一時停止および再開

原稿のスキヤン中に、スキヤナを一時停止したり、再開することができます。

- タッチ画面の【一時停止】を選択すると、スキヤンが一時停止します。この時、【一時停止】ボタンが【再開】ボタンに変わります。



- タッチ画面の【再開】ボタンを選択すると、一時停止していたスキヤン作業が再開します。

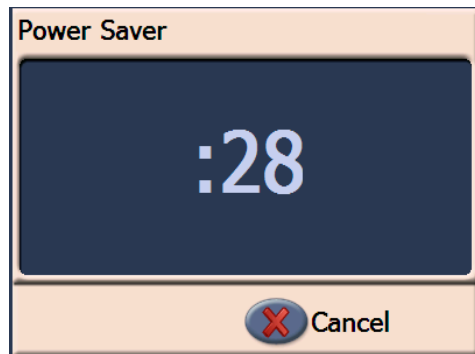
スキヤナの自動一時停 止および再開

スキヤン中、スキヤナは内部イメージバッファメモリを監視しています。ホストコンピュータがイメージを取得する前にイメージが上書きされることを防ぐために、スキヤンソフトウェアがスキヤンしたイメージの処理を行っている間、スキヤナはフィーダを自動的に一時停止します。

スキヤンソフトウェアの処理が完了したら、自動的にスキヤン作業が再開されます。

省電力モード

工場からの出荷時に i1800 シリーズスキャナは、15 分間何も操作が行われないと省電力モードに移行するように設定されています。この設定は、お使いのスキャンソフトウェアで変更することができます。省電力モードを有効にすると、省電力モードに移行する 1 分前からカウントダウンが行われます。省電力モードに移行すると、緑色の LED が点滅し、タッチ画面には何も表示されません。



注：省電力モードにしない場合は、[キャンセル] を選択してください。

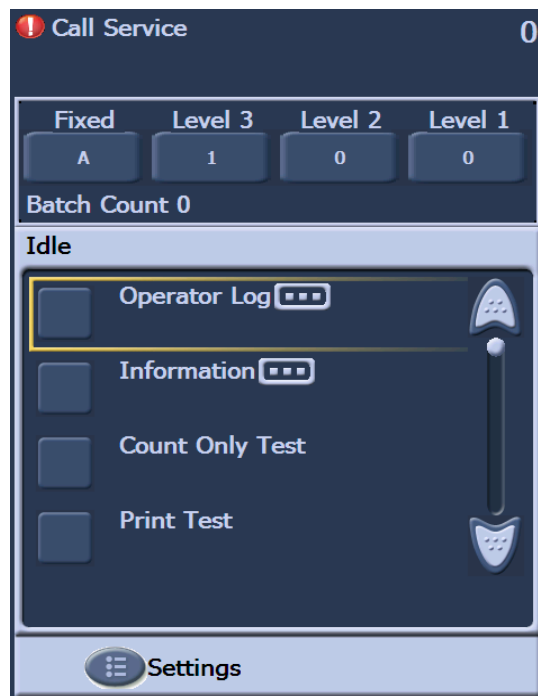
省電力モードからの再開

- 入力エレベータに用紙がある場合は、それをいったん取り出してからもう一度セットします。
- 入力エレベータに用紙がない場合は、用紙をセットします。

タッチ画面に初期画面が表示されます。

メッセージの表示

メッセージウィンドウには、最新のスキャナ状態や、オペレータメッセージが表示されます。ここには、一度に1つのメッセージだけが表示されます。前のメッセージを表示するには、オペレータログを使用してください。



4 拡張プリンタとパッチリーダーの使用法

この章では、拡張プリンタとパッチリーダーの使用法について取り上げています。この章では、以下の情報や手順を説明します。

- 印字フィールドやプリンタの仕様も含めた、拡張プリンタの概要
- プリンタの水平位置の設定
- インクカートリッジおよびインクブロッタストリップの交換
- 表面から裏面、または裏面から表面へのプリンタキャリアとケーブルの移動
- パッチリーダーとパッチタイプの概要

注：拡張プリンタとパッチリーダーの詳細については、『スキャンセットアップガイド』および『パッチコードの情報』(A-61599_ja)を参照してください。

拡張プリンタの概要

i1800 シリーズスキャナには、プリンタ（表面または裏面印字用）があらかじめ取り付け、設定されています。このプリンタはスキャナと同じ速度で動作し、スキャン前（表面）またはスキャン後（裏面）に印字します。印刷時には、日付、時刻、イメージアドレス、およびカスタムメッセージを追加することができます。

このプリンタの特長として、リテラル（静的）情報（つまり、バッチ名、オペレータなど、どのドキュメントに対しても同じになる情報）とダイナミック（動的）情報（つまり、イメージアドレスなど、スキャンするページごとに異なる情報）の両方を入れるようにドキュメントの印字文字列を設定できる点が挙げられます。リテラル（静的）フィールドはスキャンソフトウェアによって制御されます。つまり、ソフトウェアによりユーザが入力できる情報をプリンタに送信できます。

プリンタの制御や機能はすべて、ISIS ドライバまたは TWAIN データソースを介して利用することができます。印字はスキャンセッションごとに有効または無効にする必要があります。

注意：

- 出荷時にスキャナは、表面に印字するように設定されています。裏面に印字するように変更する方法については、「表面から裏面、または裏面から表面へのプリンタキャリアとケーブルの移動」を参照してください。
- プリンタの使用時には、スキャナの搬送路コンポーネントを毎日クリーニングしてください。
- 一度に1つのプリンタしか使用できません（表面または裏面）。両方のプリンタを使用すると、エラーが表示されます。
- プリンタを使用する場合、原稿の最小幅はサイドガイドで調整可能な 10 cm（4 インチ）です。
- インクカートリッジは、スキャナの電源を入れる前に取り付ける必要があります。電源がオンのときに取り付けると、印字中にエラーになる可能性があります。

プリンタの仕様

特性	説明
最大行数	1
最大文字数	40
印字位置（水平方向）	12（表面）、8（裏面）、手動設定
印字位置（垂直方向）	スキャンソフトウェアで設定
印字方向	0、90、180、または 270 度
フォントサイズ	標準または太字を選択可能 注：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない言語もあります。
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R 緑：HP-C6602G 青：HP-C6602B
印字面	表面（スキャン前）または裏面（スキャン後）
印字可能な原稿の先端からの最小間隔	0.89 cm（0.35 インチ）
使用可能なリテラル（静的）フィールド	スキャンソフトウェアを使ったユーザ指定のメッセージ
使用可能なダイナミック（動的）フィールド	最大 9 桁の原稿の連番、日付、イメージアドレス、4 桁の時刻
サポートされる言語	表音言語（例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語（半角カナ））

印字位置の変更

水平の印字位置は手動で変更することができます。表面または裏面の印字位置を変更できます。

表面の水平印字位置の変更

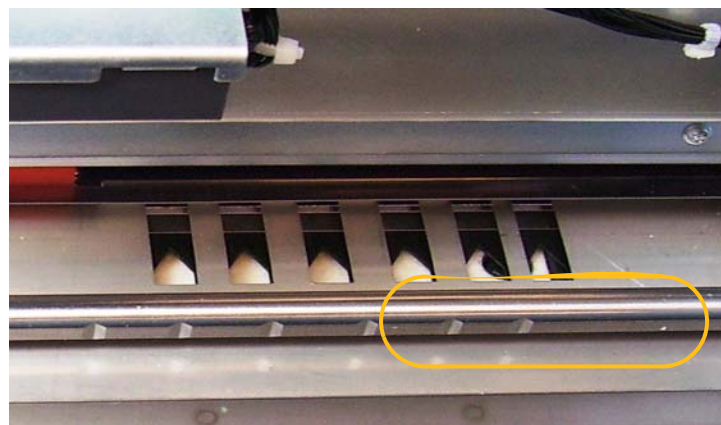
1. 出力トレイを取り外します。



2. プリンタアクセスカバーを開けます。



水平の印字位置は全部で 13 ヶ所あります。これらの位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認することができます。



3. プリンタキャリアはレールに沿って簡単に動かすことができます。緑色のプリンタキャリアには、小さな矢印があります。矢印をレール上の適切なつめの場所に移動して、印字位置を設定します。



4. プリンタアクセスカバーを閉めます。
 5. 出力トレイを取り付けます。
- 注：情報がすべて印字されていなくても、印字はドキュメントの後端から約 1.27 cm (0.5 インチ) のところで自動的に停止します。

裏面の水平印字位置の変更

水平の印字位置は全部で 8 ヶ所あります。これらの位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認することができます。

1. 上部アクセスカバーを開けます。
2. プリンタキャリアはレールに沿って簡単に動かすことができます。緑色のプリンタキャリアには、小さな矢印があります。矢印をレール上の適切なつめの場所に移動して、印字位置を設定します。



3. 上部アクセスカバーを閉じます。

表面から裏面、または裏面から表面へのプリンタキャリアとケーブルの移動

出荷時には、スキヤナのプリンタキャリアとリボンケーブルは、表面印字（スキャン前）用に設定されています。裏面印字（スキャン後）を行う場合は、プリンタキャリアとケーブルを表面用から裏面用の位置に移動する必要があります。表面または裏面のどちらかにだけ印字できます。

表面印字と裏面印字の両方を頻繁に使用する場合は、もう 1 つプリンタキャリアを購入して取り付けることもできます。そうすれば、インクカートリッジを表面から裏面に、または裏面から表面に移動する手間しかかかりません。そうしない場合は、インクカートリッジだけでなく、プリンタキャリアとケーブルも表面から裏面に、または裏面から表面に移動する必要があります。

注：プリンタキャリアとケーブルを移動したら、スキヤナを再起動する必要があります。

表面から裏面へのプリンタキャリアとケーブルの移動

注：作業を開始する前に、インクカートリッジを取り外してください。手順については、次のセクションの「インクカートリッジの交換」を参照してください。

1. 出力トレイを取り外して、プリンタアクセスカバーを開けます。
2. リボンケーブルをホルダから垂直に引き抜きます。



3. プリンタキャリアを取り外します。
4. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを取り付けます。
5. 上部アクセスカバーを持ち上げます。
6. プリンタキャリアを適切な位置に取り付けます。
7. リボンケーブルを接続します。
8. インクカートリッジを取り付けます。手順については、次のセクションの「インクカートリッジの交換」を参照してください。
9. 上部アクセスカバーを閉じます。
10. スキヤナを再起動します。
11. 印字テストを行います。

裏面から表面へのプリンタキャリアとケーブルの移動

注：作業を開始する前に、インクカートリッジを取り外してください。
手順については、次のセクションの「インクカートリッジの交換」を参照してください。

1. 上部アクセスカバーを開きます。
2. リボンケーブルを取り外します。
3. プリンタキャリアを取り外します。
4. 上部アクセスカバーを閉じます。
5. 出力トレイを取り外し、プリンタアクセスカバーを開けます。
6. プリンタキャリアを適切な位置に取り付けます。
7. リボンケーブルを接続します。
8. インクカートリッジを取り付けます。
9. 上部アクセスカバーを閉じます。
10. スキャナを再起動します。
11. 印字テストを行います。

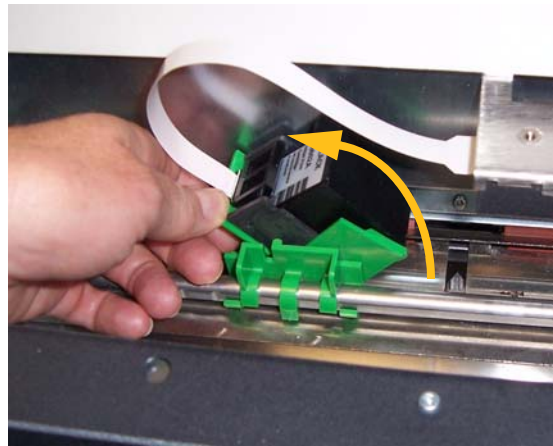
インク カートリッジの交換

インクカートリッジは、以下の場合に交換します。

- 印刷された文字が薄かったり、不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- 印字テストで文字の品質が不均一の場合
- クリーニングを行っても印字品質が向上しない場合

表面に印字する場合でも裏面に印字する場合でも、インクカートリッジの交換手順は同じです。ただし、プリンタへのアクセス方法（プリンタの場所）が異なります。

1. 上部アクセスカバー（裏面印字の場合）を持ち上げるか、または出力トレイを取り外してプリンタアクセスカバーを開きます（表面印字の場合）。
2. プリンタキャリアを写真のように保持し、プリンタキャリアの下部にあるリリースタブを押しながら、プリンタキャリアがロックされるまで左側に回転させて、正しい位置に設置します。

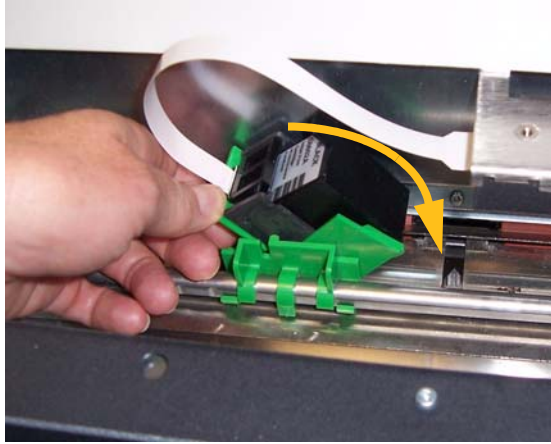


重要：空のインクカートリッジの廃棄は、国や使用地域の法律に従ってください。

3. プリンタキャリアからインクカートリッジを取り外します。
4. 新しいインクカートリッジからタブを取り外します。
5. 新しいインクカートリッジを少し傾けながらプリンタキャリアに入れ、それを所定の位置に取り付けます。



6. プリンタキャリアの下部にあるリリースタブを押したまま、プリンタキャリアを回転させて元の位置に戻します。



注：リボンケーブルが外れている場合は、それを元の位置に取り付けてください。

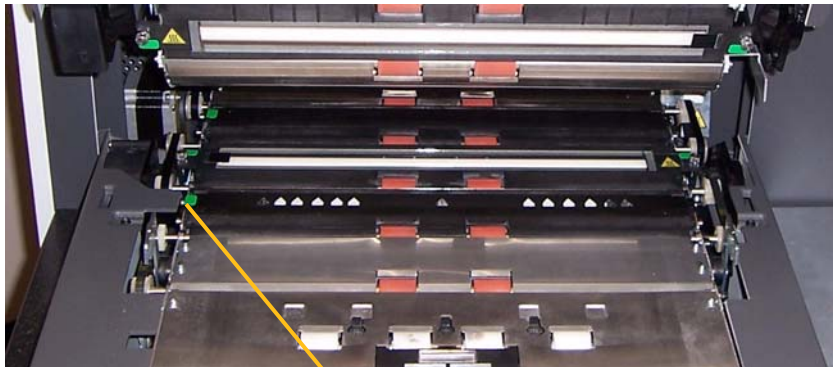


7. プリンタキャリアの矢印とレール上のつめの位置が合うように、プリンタキャリアを適切な場所に移動します。
8. 上部アクセスカバーを閉じます（裏面印字の場合）。またはプリンタアクセスカバーを閉じて、出力トレイを取り付けます（表面印字の場合）。
9. 印字テストを行います。

プロッタストリップの交換（表面印字の場合）

プロッタストリップは、オーバーフローしたインクを吸収します。ストリップにインクが溜まったら、交換する必要があります。交換用のプロッタストリップは、コダックの販売店を通じて購入できます。

1. ポッドを開けます。
2. 緑のタブを使ってインクプロッタストリップカバーを取り外します。

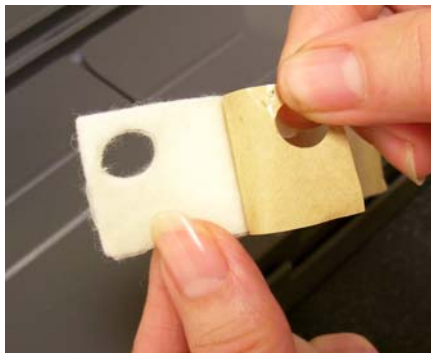


インクプロッタストリップカバーを取り外します

3. 搬送路からプロッタストリップを丁寧に取り除きます。



4. 汚れたストリップは捨てます。
5. プロッタストリップの保護面を剥がします。



6. チャンネルにブロッタストリップを並べます。粘着面をチャンネルに押し付けて貼り付ける前に、きちんと並んでいることを確認してください。
7. ブロッタストリップをチャンネルにしっかりと押しつけます。



8. インクブロッタストリップカバーを取り付けます。
9. ポッドを閉めます。

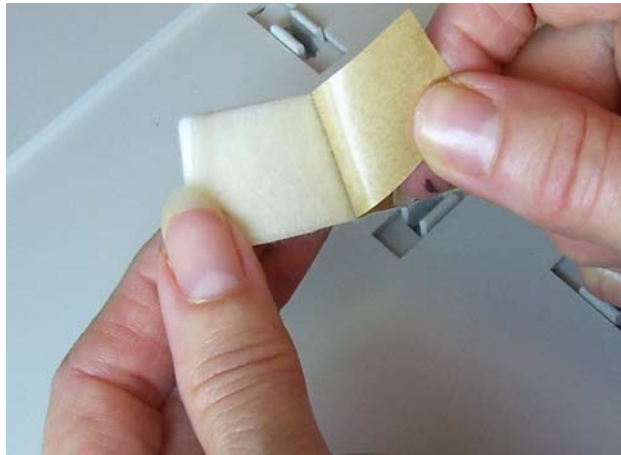
インクブロッタストリップの交換（裏面印字の場合）

ブロッタストリップは、オーバーフローしたインクを吸収します。ストリップにインクが溜まったら、交換する必要があります。交換用のブロッタストリップは、コダックの販売店を通じて購入できます。

1. 出力トレイを取り外します。リアブロッタストリップは、バッフルの下にある2つの引き出しにあります。



2. 引き出しを軽く押してから少し持ち上げて、引き出します。
3. 汚れたブロッタストリップを剥がします。
4. 新しいブロッタストリップの保護面を剥がします。



5. チャンネルにブロッタストリップを並べます。粘着面をチャンネルに押し付けて貼り付ける前に、きちんと並んでいることを確認してください。
6. ブロッタストリップをチャンネルにしっかりと押しつけます。
7. 他のブロッタにもステップ2～5を繰り返します。
8. 引き出しを押し入れた後、少し下げて閉めます。少し下げることにより、引き出しが定位置にロックされます。
9. 出力トレイを取り付けます。

パッチ機能の概要

i1800 シリーズスキャナの全モデルでトグルパッチ機能が使用できます。このタイプのパッチは、スキャナを現在のイメージストリーム（白黒）から別のイメージストリーム（カラー／グレースケール）に切り替えるためのトリガーとして使われます。

パッチリーダー

パッチリーダーを使用すると、自動的にイメージアドレスを増やしたり、特別な機能を実行したりできます。パッチリーダーを使用するには、イメージアドレス管理を有効にする必要があります。パッチシートは、ドキュメントの準備時に挿入します。

常時取り付けられる 4 つのオフセンタパッチリーダーがあります。これらのパッチリーダーは、スキャンソフトウェアを使って個別に有効／無効にすることができます。

複数のパッチリーダーを有効にしている場合、有効になっているいずれかのパッチリーダーが正しくパッチをデコードすれば、そのパッチが読み取られます。パッチバーが有効になっている複数のパッチヘッドを通った場合、パッチの読み取り確度が向上します。

注：パッチの読み取りに関する問題の大部分は、パッチコードやパッチシートの品質が低いことに関連しています。高品質に印刷されたパッチシートを使用することにより、読み取り確率が向上します。

詳細については、コダックの文書 A-61599_ja の「パッチコードの情報」を参照してください。

パッチタイプ

パッチタイプ 1、4、および 6 — これらのパッチタイプは、スキャンソフトウェアがスキャンの後処理機能を実行する場合に使用できます。イメージアドレス管理では、これらのパッチは使用されません。

重要：以下のパッチは商業用ではないため、製品の製造には使用しないでください。

パッチ 1



パッチ 4



パッチ 6



トグルパッチ — トグルパッチは、スキャナを現在のイメージストリーム（白黒）から別のイメージストリーム（カラー）に切り替えるためのトリガーとして使われるタイプ 4 パッチです。

注：トグルパッチの向きは、イメージアドレス管理が有効になっているか、または無効になっているかによって異なります。

トグルパッチ



イメージアドレス管理が無効の場合



イメージアドレス管理が有効の場合

イメージアドレス管理が無効の場合は、パッチリーダーも無効になります。ただし、トグルパッチは検知されます。

パッチタイプ 2、3、および T — これらのパッチタイプはイメージアドレス管理に使われます。

パッチリーダーは、あらかじめ定義されたパッチコードを自動的に感知し、それに応じてドキュメントレベルを変更します。

重要：以下のパッチは商業用ではないため、製品の製造には使用しないでください。

パッチ 2 — レベル 2 を現在のドキュメントに割り当てます。



パッチ 3 — レベル 3 を現在のドキュメントに割り当てます。



パッチ 5/T/ トランスファーパッチ — 事前定義されたレベルを次のドキュメントに割り当てます。



トランスファーパッチの定義もアプリケーションで行うことができます。トランスファーパッチ定義は、トランスファーパッチが読み込まれたときに、次のドキュメントに割り当てられるレベルをコントロールします。たとえば、トランスファーパッチがレベル 3 に定義されている場合、トランスファーパッチが読み込まれると、次のドキュメントにはレベル 3 が割り当てられます。

パッチコードの配置

パッチの配置や仕様の詳細については、コダックの文書 A-61599_ja の「[パッチコードの情報](#)」を参照してください。

パッチは、タッチ画面の [パッチ検知テスト] を使ってテストすることができます。詳細は、第 3 章の「[パッチテストの実行](#)」を参照してください。

5 メンテナンス

この章では、以下の項目について説明します。

- クリーニング頻度チャート
- クリーニング用品の一覧
- 消耗品およびアクセサリの一覧
- スキャナのクリーニング手順
- 交換可能な部品の交換手順

重要 : 緑のタブでマーク付けされているスキャナコンポーネントは、オペレータがアクセスできる部品を示しています。

最適なイメージ品質を保つには、定期的にスキャナをクリーニングして予防的なメンテナンスを施す必要があります。以下は、コストがかさむ業務中のスキャン中断を防ぐために推奨する予防的なメンテナンス手順です。この推奨メンテナンス手順に要する時間は、約5～10分です。

原稿の種類によっては、紙片や紙くずが通常より多く発生するため、推奨スケジュールより頻繁にクリーニングしなければならない場合があります。

注意 :

- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤのゴミは、必ずしも磨耗や損傷を意味するものではありません。クリーニング後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレーションローラまたはフィードモジュールを交換してください。
- ローラやタイヤをクリーニングした場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。
- 未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。

クリーニング頻度 チャート

推奨するクリーニング手順では、スキャナの搬送路を掃除機で掃除し、フィードモジュール、セパレーションローラまたはドライブローラのゴミを取り除き、イメージングガイドをクリーニングします。

スキャナのクリーニング頻度については、以下のチャートで確認してください。

手順	業務開始時	シフト中	新規シフトの開始時
出カトレイと入力領域を掃除機でクリーニングします（入力エレベータおよび搬送路）。	X		
すべてのローラをクリーニングします。	X		X
搬送路を掃除機でクリーニングします。	X	X	X
バックグラウンドストリップを取り外し、その下の部分を掃除機でクリーニングします。	X		
搬送路クリーニングシートを通します。	X		X
イメージングガイドをクリーニングします（基本）。	X	X	X
イメージングガイドをクリーニングします（完全）。	X		X

クリーニング用品

スキャナの日常的なメンテナンスを行うときには、以下のクリーニング用品のみを使用してください。他のクリーニング製品を使用すると、スキャナに損傷を与える場合があります。

- トランスポートクリーニングシート
- ローラークリーニングパッド
- 静電クリーニングクロス
- 掃除機およびツール

消耗品およびアクセサリ

消耗品を注文するには、最寄りのスキャナー販売代理店に連絡してください。

消耗品	カタログ番号
フィーダ交換キット i600/i1800 用	108 4755
薄紙専用フィーダキット i600/i1800 用	896 5279
フィーダ交換キット i600/i1800 用ラージパック	842 6157
フィーダ交換キット i600/i1800 用エクストララージパック	134 3680
イメージングガイドセット / i600/i1800 用	197 6703
プリンタインクプロッタ (フロント)、i1800 用	125 7633
プリンタインクプロッタ (リア)、i1800 用	114 1472
拡張プリンタインクカートリッジ (黒)、i800/i1800 用	818 3386
拡張プリンタインクカートリッジ (赤)、i800/i1800 用	159 6832
トランスポートクリーニングシート (50 シート)	169 0783
高解像度プリンタ用メンテナンスキット	877 6254
高解像度プリンタ用インクカートリッジ (黒)、i1800 シリーズスキャナおよび <i>Kodak Imagemark Microimager 70</i> 用	822 1376
高解像度プリンタ用インクカートリッジ (赤)、i1800 シリーズスキャナおよび <i>Kodak Imagemark Microimager 70</i> 用	145 6532
<i>Kodak Digital Science</i> ローラクリーニングパッド (24 枚入り)	853 5981
スキャナ用静電クリーニングクロス (数量 144)	896 5519
キャリブレーションシート (5 枚)	127 1436
アクセサリ	カタログ番号
白バックグラウンドアクセサリ	894 9000
手動フィーダ、i1800 シリーズスキャナ用	874 1894
高解像度プリンタアクセサリ	815 0237

注：品目とカタログ番号は、変更される場合があります。

部品の注文

以下の部品をパーツサービスに注文することができます。

アクセサリ	部品番号
排紙デフレクタ	3E9575
黒バックグラウンド	9E3357
26 インチ延長トレイ (1 個/ボックス)	5E4754
30 インチ延長トレイ (1 個/ボックス)	9E3216
34 インチ延長トレイ (1 個/ボックス)	9E5277

清掃手順

スキャナのパフォーマンスとイメージ品質を最高の状態に保つには、以下の手順に従います。

OCP タッチ画面のクリーニング

タッチ画面の場合、メンテナンスはほとんど必要ありません。ただし、定期的に静電クリーニングクロスを使って画面を拭き、チリが出ない布でから拭きすることをお勧めします。

出力トレイと入力エレベータの掃除

1. スキャナの電源を切ります。
2. 出力トレイを取り外します。



3. 出力トレイ、および入力エレベータの付近を掃除機で完全にクリーニングします。



ローラーのクリーニング

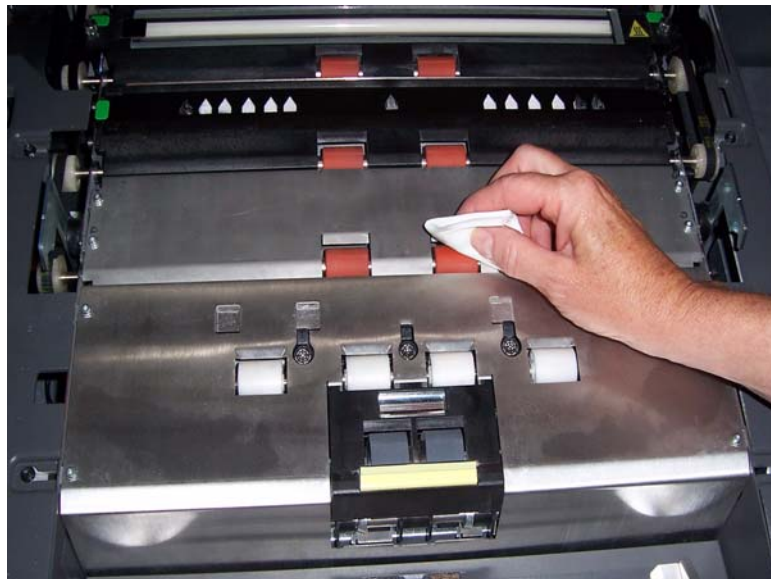
ローラーをクリーニングする場合、搬送路のローラー、およびセパレーションローラーやフィードモジュールのタイヤをすべてクリーニングします。

1. ポッドリリースレバーを引き上げ、ポッドを開けます。



2. ローラクリーニングパッドを使用して、ローラーを手動で回転させながら汚れを拭き取ります。

重要：ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。



3. チリが出ない布でローラーを乾拭きします。

セパレーションローラタイヤのクリーニング手順

4. セパレーションパッドホルダを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。



5. セパレーションローラタイヤを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように溝に沿って拭くと、最適な効果が得られます。



6. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、セパレーションローラを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。
7. セパレーションローラの溝とホルダを合わせて、ローラを取り付けます。



8. ポッドを閉めます。

フィードモジュールタイヤのクリーニング手順

9. プリンタアクセスカバーを持ち上げます。



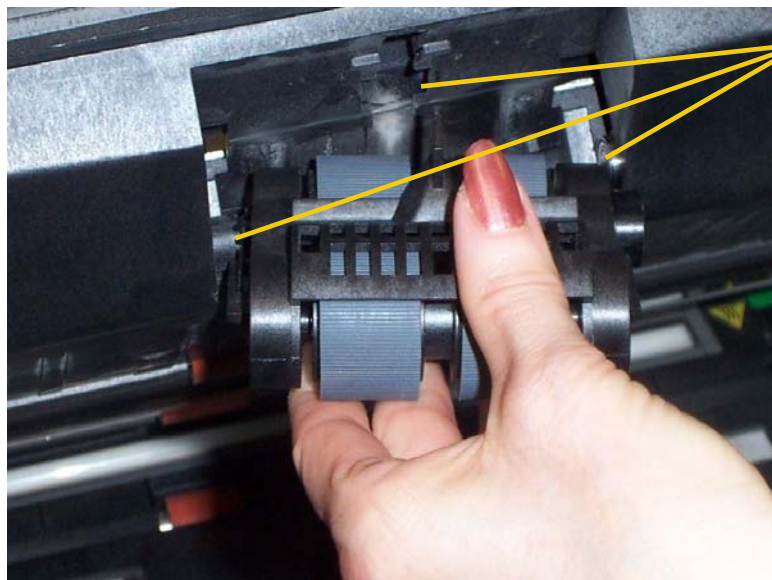
10. リリースレバー（プリンタアクセスカバーの下）を下側に押して、フィードモジュールを外し、取り出します。



11. フィードモジュールタイヤを回転させて、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように溝に沿って拭くと、最適な効果が得られます。



12. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードモジュールタイヤを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。
13. ピンを合わせて所定の位置にはめ込むようにしてフィードモジュールを挿入します。リリースレバーを引き上げて、所定の位置にロックします。フィードモジュールを取り付けた後、しっかりと固定されて自由に移動できることを確認します。

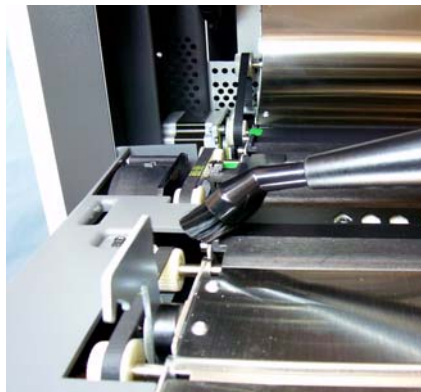


これらの領域を合わせる

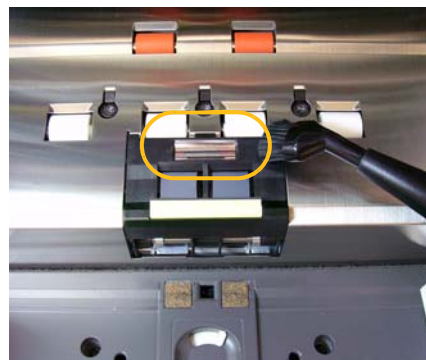
14. プリンタアクセスカバーを閉めます。

搬送路の掃除

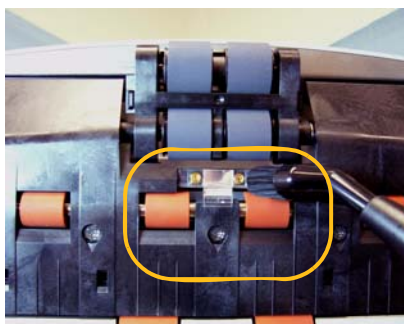
1. ポッドを開けます。
2. 掃除機で搬送部全体を入念にクリーニングします。以下の部分に特に注意してください。



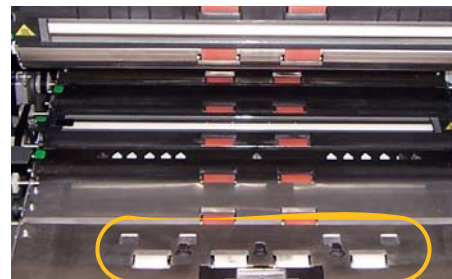
搬送路の端



搬送路の正面付近にある反射テープ



ポッドの正面付近にある反射テープ



搬送路とポッドのベースにある3つの重送検知センサ

バックグラウンドストリップの下の掃除

1. 緑のタブをつかみ、上部と下部のバックグラウンドストリップを引き出して取り出します。



2. バックグラウンドストリップが固定されていた部分を掃除機でクリーニングします。
3. 上部および下部バックグラウンドストリップを取り付けます。

イメージングガイドのクリーニング（基本）

1. ポッドを開けます。
2. 上部イメージングガイドおよび下部イメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。



重要： 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌の乾燥の原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹼と水で手を洗ってください。詳細については、MSDS（製品安全データシート）を参照してください。

3. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。
4. 作業が完了したら、ポッドを閉じます。

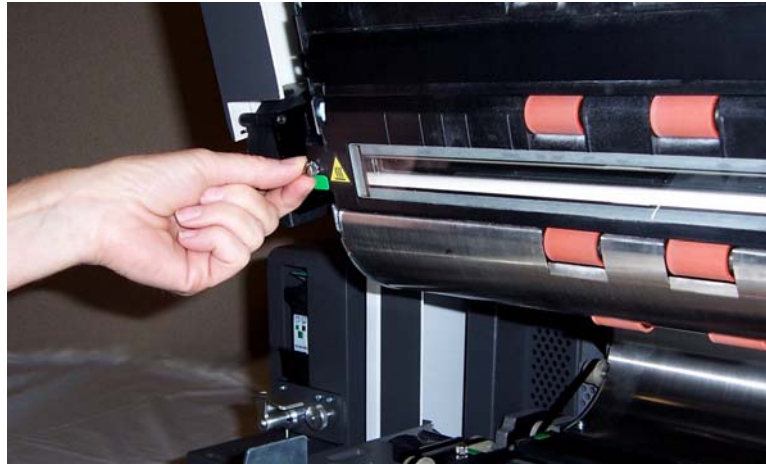
イメージングガイドのクリーニング (完全)

業務の開始時、および各シフトの開始時には、イメージングガイドを完全にクリーニングすることをお勧めします。

注：クリーニング時には、イメージングガイドに指紋を付けないように、緑色のタブの所を持つようにしてください。

上部イメージングガイド

1. ポッドを開けます。
2. 上側イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。



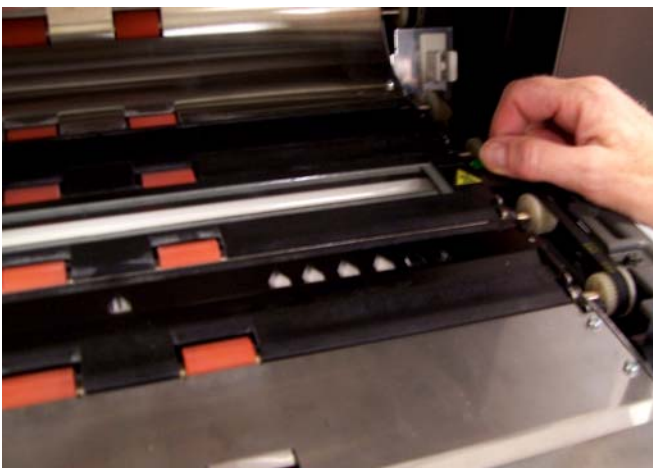
3. 静電クリーニングクロスでイメージングガイドを完全に清掃します。
4. ほとんど乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドをもう一度拭き、縞状の汚れを取り除きます。

重要：上部ランプ間には、カバーガラスはありません。スキャンモジュールの反射鏡に損傷を与える可能性があるため、上部ランプ間の領域には何も入れないようにしてください。

5. 上部イメージングガイドを取り付けます。

下部イメージングガイド

1. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。



2. ランプの間の部分を掃除機で注意深くクリーニングし、静電クリーニングクロスでランプの間のガラスダストプレートを入念にクリーニングします。



3. 静電クリーニングクロスで下部イメージングガイドを完全に清掃します。
4. ほとんど乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドをもう一度拭き、縞状の汚れを取り除きます。
5. 下部イメージングガイドを取り付けます。
6. ポッドを閉めます。

7. クリーニング作業がすべて完了したら、出力トレイを取り付けます。

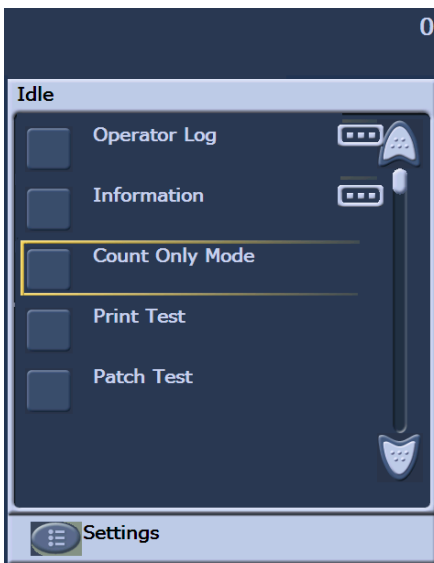


8. スキャナーの電源を入れます。

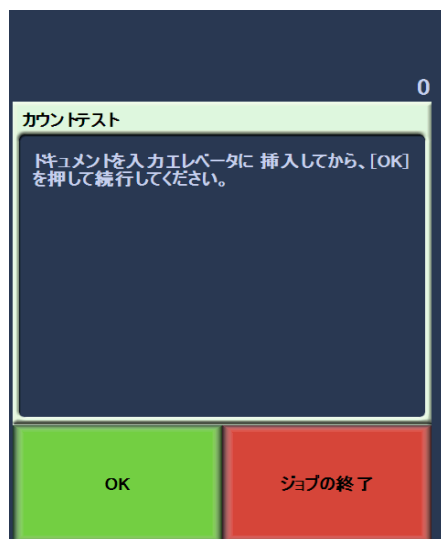
搬送路クリーニングシートによるクリーニング

搬送路は、搬送路クリーニングシートを数回通してクリーニングする必要があります。

1. 搬送路クリーニングシートの包装を取り除きます。
2. サイドガイドを最も広い位置まで調整します。
3. 入力エレベータの中央に搬送路クリーニングシートを横長方向にセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. 待機画面の [カウントオンリーモード] を選択します。



[カウントテスト] 画面が表示されます。



5. [スキャン] を選択します。
6. 出カトレイから搬送路クリーニングシートを取り出し、今度は入力エレベータに横長方向に、粘着面を下にしてセットします。次に、[スキャン] を選択します。
7. 作業が完了したら、[ジョブの終了] を選択します。

注：搬送路クリーニングシートが汚れてきたら、汚れたシートは捨てて新しいものに取り替えてください。

クリーニングの最終手順

搬送路クリーニングシートによるクリーニングが完了したら、次の作業を行ってください。

1. ポッドを開けます。
2. 上部および下部イメージングガイドの露出面を、チリの出ない布で拭きます。
3. ポッドを閉じた後、テスト用イメージをスキャンして、イメージ品質を確認してください。

交換手順

ここでは、次の部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。

- **フィードモジュールタイヤおよびセパレーションローラタイヤ**— タイヤの寿命は、用紙の種類や環境、清潔さにより異なります。タイヤ寿命は通常およそ原稿 600,000 枚ですが、実際は条件によって異なります。フィーダの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤはすべて同時に交換してください。
- **フィードモジュールおよびセパレーションローラ**— タイヤを4回交換するごとに、新しいフィードモジュールとセパレーションローラを取り付けることをお勧めします。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に取り付けてください。
- **プリセパレーションパッド**— フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤを変更するたびに一度はプリセパレーションパッドを変更することをお勧めします。
- **イメージングガイド**— イメージングガイドに傷が付き、表示されたイメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換してください。

フィードモジュールまたは フィードモジュールタイヤの 交換手順

1. 出力トレイを取り外します。
2. プリンタアクセスカバーを持ち上げます。



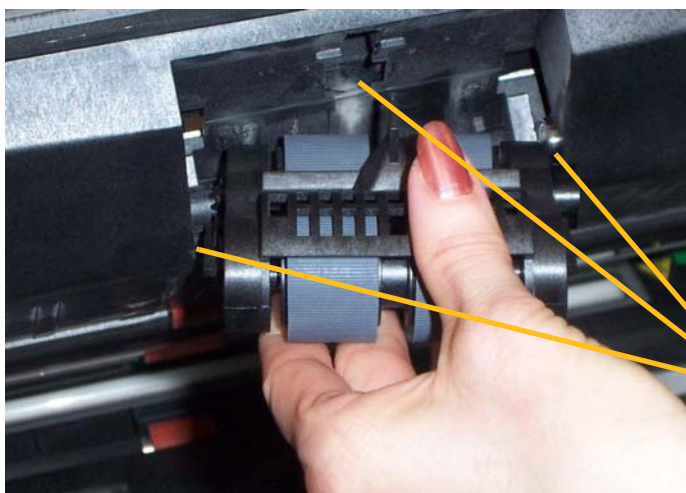
3. ポッドを開けます。

4. リリースレバー（プリンタアクセスカバーの下）を下側に押し、フィードモジュールを外し、取り出します。



5. フィードモジュールを交換する場合は、次の手順に従ってください。タイヤを交換する場合は、ステップ6に進んでください。

- フィードモジュールのピンを合わせてはめこみ、リリースレバーを引き上げて所定の位置にロックします。フィードモジュールを取り付けた後、しっかりと固定されて自由に移動できることを確認します。

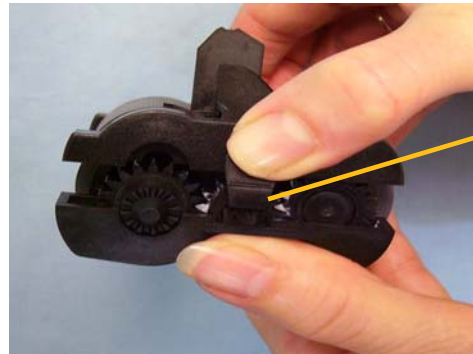


これらの部分に合わせてます

- ポッドおよびプリンタアクセスカバーを閉めます。
- 出力トレイを取り付けます。

タイヤを交換するには、以下の手順に従います。

6. 片方の手で両サイドの固定タブを押し、もう一方の手で下側のカバーを押さえ、上側のカバーを引き上げてローラから離します。



7. 一方のコアアセンブリを取り外します。
8. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。



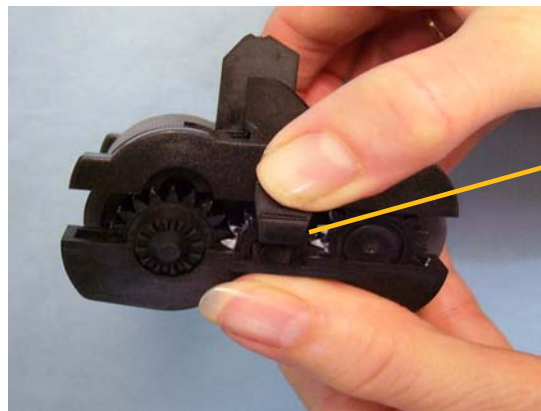
9. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。

重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。



10. 下部フィードモジュールのハウジングにコアアセンブリを取り付けます。
11. 上記の交換手順を繰り返し、もう一方のコアアセンブリのタイヤを交換します。

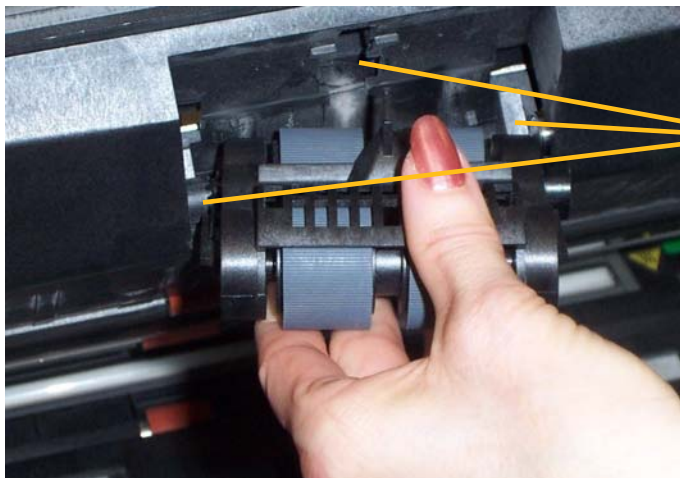
12. 上側のカバーのタブを下側のカバーの溝に合わせます。



固定タブ

13. 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押します。

14. フィードモジュールのピンを合わせてはめこみ、リリースレバーを引き上げて所定の位置にロックします。フィードモジュールを取り付けた後、しっかりと固定されて自由に移動できることを確認します。



これらの
部分を合
合わせます

15. ポッドを閉めます。

16. プリンタアクセスカバーを閉めます。

17. 出力トレイを取り付けます。

セパレーションローラまたは
セパレーションローラタイヤ
の交換手順

1. ポッドを開けます。
2. セパレーションパッドホルダを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。



セパレーションローラを交換する場合は、手順3～4を実行します。セパレーションローラタイヤを交換する場合は、手順5に進んでください。

3. 新しいセパレーションローラを挿入します。セパレーションローラの溝とホルダをぴったりと合わせてください。



4. セパレーションローラホルダを所定の位置に戻し入れ、ポッドを閉めます。

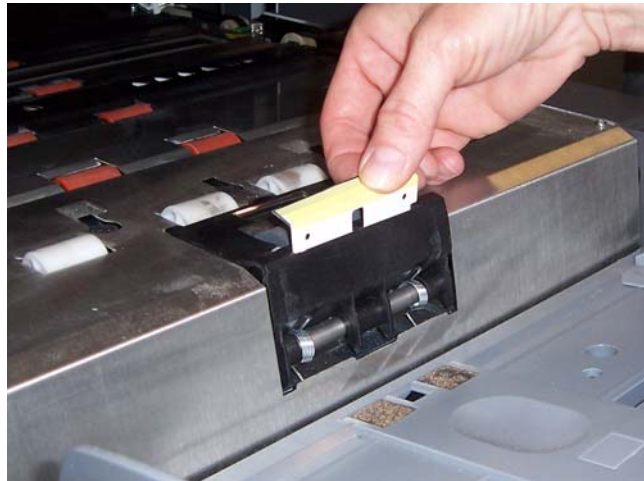
タイヤを交換するには、以下の手順に従います。

5. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
6. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。
重要：タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。破損する場合があります。
7. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダをぴったりと合わせてください。
8. セパレーションローラホルダを所定の位置に戻し入れ、ポッドを閉めます。

プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. ポッドを開けます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて、パッドを取り外します。



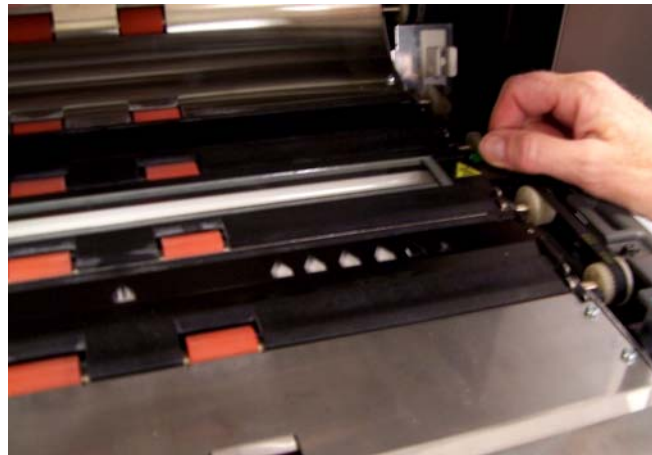
3. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。所定の位置にカチッと収めてください。
4. ポッドを閉めます。

イメージングガイドの交換手順

イメージングガイドに傷が付き表示されたイメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換する必要があります。

注：イメージングガイドに指紋がつかないようにしてください。

1. ポッドを開けます。
2. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。



3. 新しいイメージングガイドを取り付け、ネジを回してイメージングガイドを固定します。
4. 手順2～3を繰り返して、上部イメージングガイドを交換します。
5. ポッドを閉めます。

6 トラブルシューティング

この章では、以下の項目について説明します。

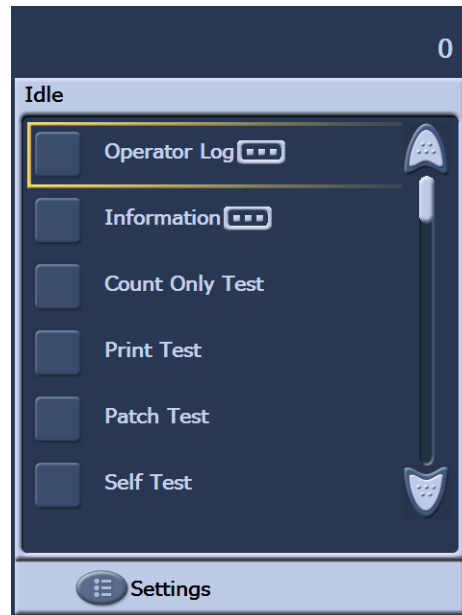
- オペレータログの表示方法
- 問題解決チャート
- スキャナの使用中に表示される可能性のあるエラーメッセージ一覧

オペレータログの表示

オペレータログは、オペレータコントロールパネルのタッチ画面から、または Scan Validation Tool を使って参照することができます。

タッチ画面からのオペレータログの表示

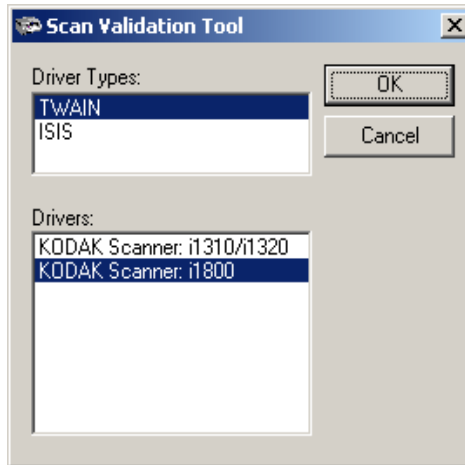
- 待機画面で、[オペレータログ] を選択します。



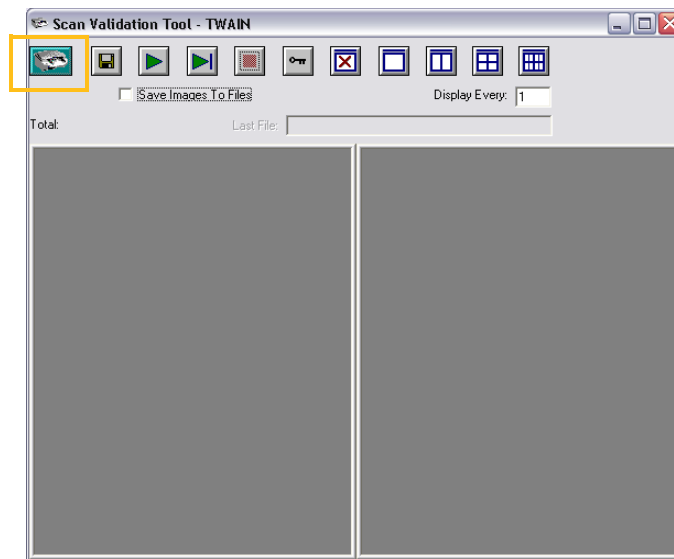
NOTE: オペレータログが表示されます。ここには、最後にスキャナの電源を入れた時からのメッセージだけが表示されます。Scan Validation Tool を使用する場合は、発生したすべてのメッセージを表示できます。消去されたオペレータログメッセージを表示する方法については、次のセクションを参照してください。

Scan Validation Toolを使ったオペレータログの表示

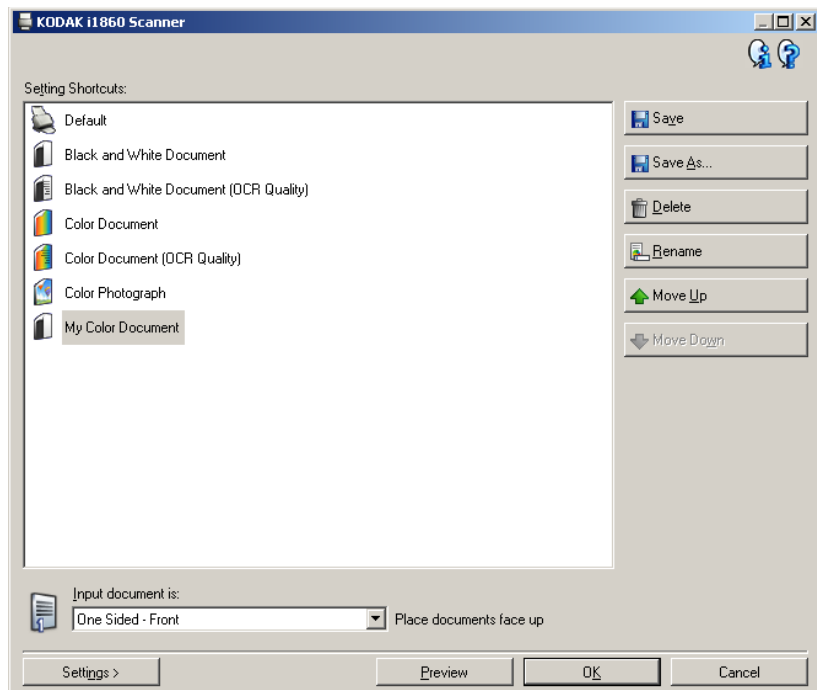
1. [スタート] > [プログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [Scan Validation Tool] の順に選択します。
2. [ドライバの種類] ボックスから [TWAIN] を選択します。
3. [ドライバ] ボックスから [コダック スキャナ i1800] を選択して [OK] をクリックします。



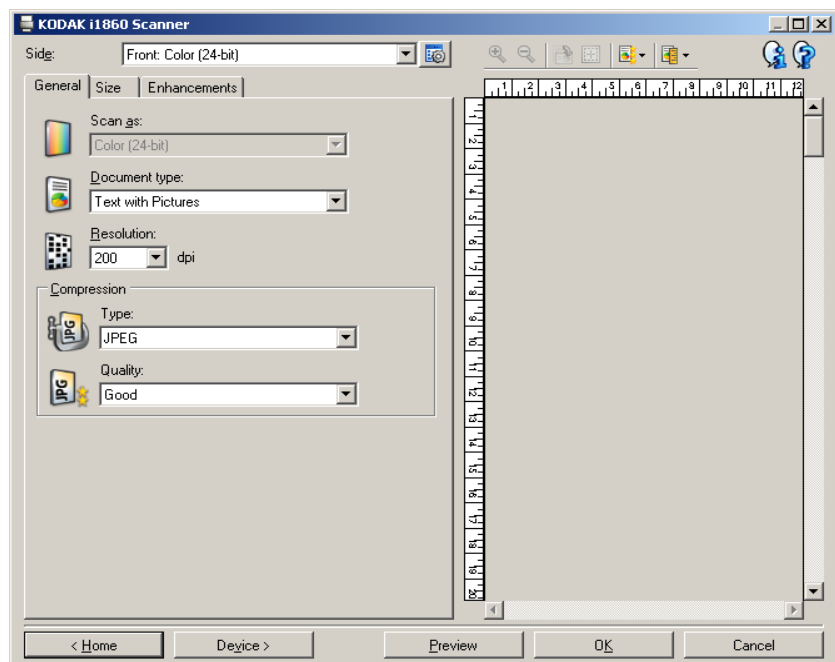
4. [スキャナ] アイコンを選択します。



5. メイン画面から、[設定] をクリックします。

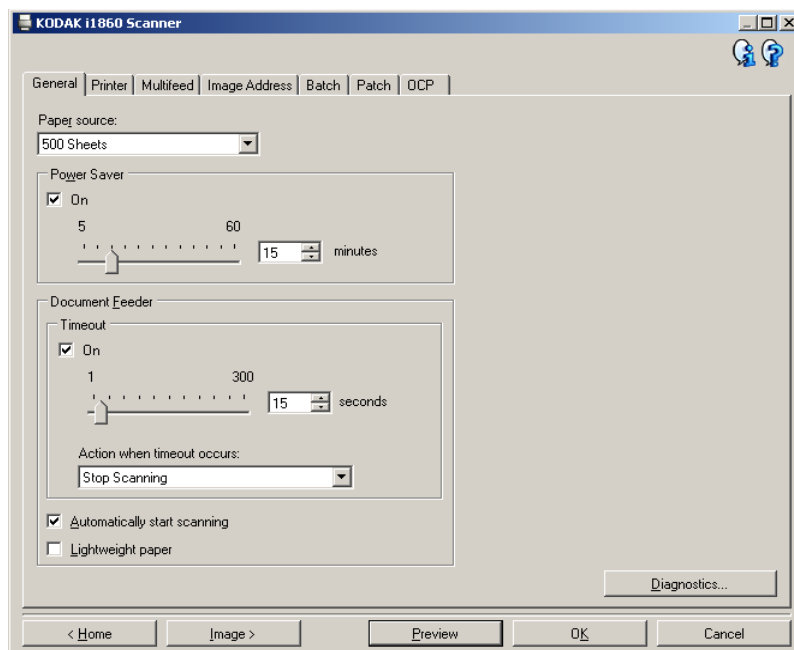


[設定] 画面が表示されます。

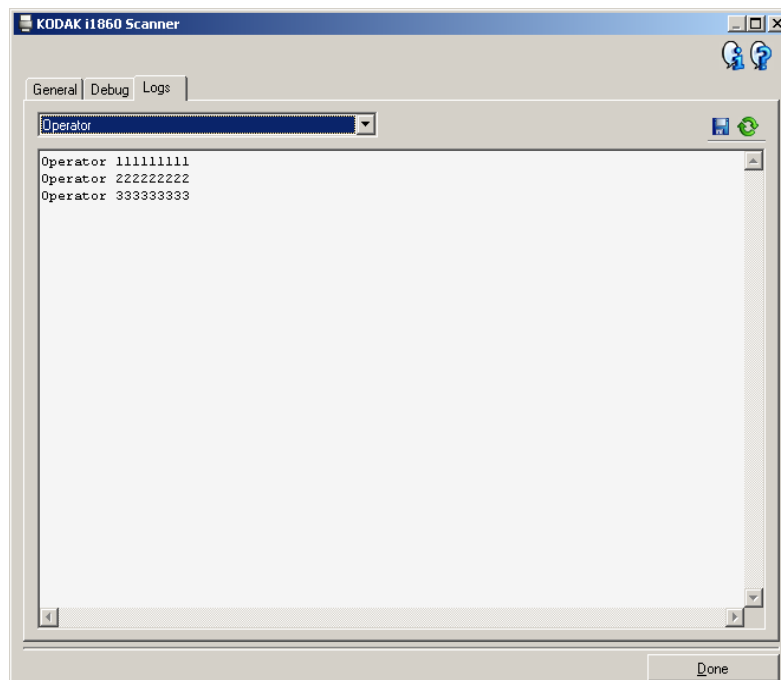


6. [デバイス] を選択します。

[デバイス] 画面が表示されます。




7. [診断] をクリックします。[診断] 画面が表示されます。



8. [ログ] タブを選択します。

9. ドロップダウンボックスから、[オペレータ] を選択します。最新のログエントリは一覧のトップに表示されます。エラー状態の説明については、次のメッセージ一覧を参照してください。

NOTE: コダックフィールドエンジニアが問題を判断するために、エラーログを保存して、メールで送信するようお願いすることがあります。圧縮ログパッケージを作成するには、 ボタンを使用します。

メッセージ一覧

メッセージの五十音順一覧と、そのメッセージのいずれかが表示された場合の対処方法を以下に挙げます。

メッセージ	ID 番号	オペレータメッセージ
起動中にバックグラウンドアクセサリが交換されました	381	<p>スキャナの起動中にバックグラウンドアクセサリが交換されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> スキャナの電源を切り、数秒待ってから電源を入れ直してください。 バックグラウンドアクセサリを交換していないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合は、スキャナをクリーニングします。
ケーブルが外れています	319	<p>FireWire バスの任意のデバイスが取り外されたか、任意のデバイスが接続されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての FireWire コネクタを確認し、しっかりと固定してください。
キャリブレーションエラー	106, 331	<ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドをクリーニングしてください。手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 スキャナのキャリブレーションを再度実行します。このとき必ず正しいキャリブレーションシートを使用してください。第 3 章の「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。 キャリブレーションシートが小さすぎます。イメージキャリブレーションには、12 x 12 インチのキャリブレーションシートが必要です。 キャリブレーションシートが狭すぎます。 それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
キャリブレーション成功	105, 342	<p>情報メッセージです。スキャナのキャリブレーションが正常に実行されました。</p>
サービスセンターに連絡してください	ID 番号多数	<p>修理が必要な状況が検出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> スキャナの電源を切り、数秒待ってから電源を入れ直してください。 引き続き問題が発生する場合は、サービスセンタにエラーの ID 番号を連絡してください。
白バックグラウンドではキャリブレーションできません	184	<p>スキャナの前部と後部の両方にプリントヘッドが取り付けられています。1 回に 1 つのプリントヘッドしか取り付けられません。</p> <ul style="list-style-type: none"> どちらかのプリントヘッドを取り外してください。
両方のプリンタを取り付けた状態では実行できません	90	<p>スキャナのキャリブレーション時にスキャナに白バックグラウンドアクセサリが取り付けられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白バックグラウンドアクセサリを取り外してから、スキャナのキャリブレーションを行ってください。
原稿の状態を確認してください	123, 135, 81	<ul style="list-style-type: none"> 原稿間の隙間が小さすぎます。 原稿の先端が揃っているか確認してください。詳細については、第 3 章の「原稿の準備」を参照してください。 フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤ、およびプリセパレーションパッドの状態を確認します。必要に応じて、クリーニング、交換してください。

メッセージ	ID 番号	オペレータメッセージ
イメージングガイドおよびランプを確認してください	149, 178, 139	<ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドが正しく取り付けられていることを確認します。第5章の「メンテナンス」を参照してください。 イメージングガイドの両面と、ランプ間の下部ガラスプレートをクリーニングしてください。 イメージングガイドの白パッチがきれいで、良好な状態であることを確認してください。 それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
下部イメージガイドをクリーニングしてください	294	<p>下部イメージングガイドが汚れているか、イメージングガイド部に紙片がある可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドをクリーニングしてください。手順については、第5章の「メンテナンス」を参照してください。
上部イメージガイドをクリーニングしてください	293, 304	<p>上部イメージングガイドが汚れているか、イメージングガイド部に紙片がある可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドをクリーニングしてください。手順については、第5章の「メンテナンス」を参照してください。
ドキュメントカウントが最大値を超えました	124	<p>ドキュメントカウントが設定された最大値を上回ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメントカウントが大きい値を使用できるように、スキャナを再設定してください。原稿を再度給紙してください。
原稿の色が濃すぎるため、傾きを補正できません	143	<p><i>情報メッセージです。</i> 原稿の端が見つからないため、傾きの角度を判別できません。全幅、傾き補正なしのイメージが作成されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原稿の色が濃すぎます。 イメージが大きすぎます。 固定サイズのクロッピングウィンドウを使って再スキャンしてください。
原稿が長すぎます	35, 36, 183	<p>原稿が、設定された最大許容長を超えていることが測定されました。これは原稿の重なりが原因で生じる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重なった原稿は再度スキャンする必要があるため、ホストコンピュータの画面でイメージを確認してください。 <p>この問題は、原稿の分離が十分でない場合にも発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> セパレーションローラタイヤとプリセパレーションパッドを交換してください。手順については、第5章の「メンテナンス」を参照してください。
表面のキャリブレーションに失敗しました	110	<p>表面イメージングパスのキャリブレーションに失敗しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> イメージングガイドをクリーニングしてください。手順については、第5章の「メンテナンス」を参照してください。 スキャナのキャリブレーションを再度実行します。このとき必ず正しいキャリブレーションシートを使用してください。第3章の「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。 それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
表面のキャリブレーションに成功しました	111	<p><i>情報メッセージです。</i> 表面のイメージパスが正しくキャリブレーションされました。</p>

メッセージ	ID 番号	オペレータメッセージ
イメージアドレスオーバフロー	120	いずれかのイメージアドレスフィールドが、次のイメージアドレスで利用できるほど大きくありません (たとえば、レベル 2 フィールドの幅が 2 なのに、次のレベル 2 の値が 100 の場合)。 <ul style="list-style-type: none"> イメージアドレスフィールドを拡げてください。
イメージキャリブレーションをお勧めします	109	<ul style="list-style-type: none"> 現在の原稿束のスキャンが完了したら、スキャナをキャリブレーションしてください。
画像がスキャン範囲を超えています	177	<p>相対クロッピングパラメータにより、この原稿から生成されるイメージはスキャン範囲を超えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相対クロッピングオフセット、幅および長さが正しく、スキャンされている原稿が正しいことを確認してください。
インクカートリッジが取り付けられていません	282	<p>拡張プリンタを使用しようとしたが、インクカートリッジが取り付けられていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーブルがプリンタキャリアに正しく接続されており、プリンタキャリアにインクカートリッジが取り付けられていることを確認してください。詳細については、第 4 章の「<i>拡張プリンタとパッチリーダーの使用</i>」を参照してください。 <p>注記：インクカートリッジは、スキャナの電源を入れる前に取り付けてください。</p>
入力エレベータがいっぱいです。フィードモジュールが見つからないか、壊れています	297	<ul style="list-style-type: none"> 入力エレベータに紙が多過ぎるため、その紙束がフィードモジュールを押し上げています。入力エレベータには、最大 500 枚までの用紙をセットできます。入力エレベータから原稿を一部取り除いてください。 フィードモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。正しい取り付け手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
ジョブ設定が不正です	4	<p>ホストから送られたイメージ処理値が不正か、または他の値と競合しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジョブ設定で無効な組み合わせを使用していないか確認してください。有効な値についてはスキャン <i>セットアップガイド</i> を参照してください。
搬送ジャム	30	<p>搬送路に原稿が詰まっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力トレイからスキャンした原稿を取り除きます。 ポッドを開けます。 搬送内部から詰まっている原稿を取り出します。 ポッドを閉めます。 <p>NOTE: 以下の手順は一般的なガイドラインです。アプリケーションの設定によって、手順が異なる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 正常にスキャンされた最後の原稿を確認してください。 バッチの上に、スキャンされなかった原稿をセットします。 入力エレベータに原稿をセットして、スキャンを開始します。 <p>搬送部を通過してスキャンされなかった書類があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> イメージが生成できない書類をすべて再スキャンしてください。
ランプの準備が出来ていません (キャリブレーション)	107	<p>ランプが温まる前にキャリブレーションを実行しようとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプが完全に温まるまで (90 秒間) 待ってから、キャリブレーションを再度実行します。

メッセージ	ID 番号	オペレータメッセージ
ランプの準備が出来ていません (スキャン)	359, 19	ランプが温まる前にスキャンを実行しようとしてしました。 • メッセージ「ランプ準備完了 (スキャン)」が表示されるまで待ってから、もう一度スキャンしてください。
ランプ準備完了 (キャリブレーション)	108	情報メッセージです。ランプが暖まってキャリブレーションを実行できるようになりました。キャリブレーションを実行しなくても構いません。
ランプ準備完了 (スキャン)	280	情報メッセージです。ランプが暖まり、スキャンできる状態になりました。
ランプタイムアウト	355	情報メッセージです。休止状態によりランプが消えました。
入力エレベータに用紙がありません	46	入力エレベータに何もない状態でスキャナが開始されたか、用紙検知センサの対象となる原稿の一部 (ページ下端の裏面) が暗すぎます。 • スキャンする原稿を入力エレベータにセットして再度実行してください。 • 用紙検知センサが用紙を検知するまで、原稿の配置を調整してください。
ホスト待機中	1, 48	スキャナの内部イメージバッファがほぼフルであるためフィーダは停止していますが、搬送部は停止していません。スキャンソフトウェアが十分なイメージを正常に取得すると処理は再開されるため、スキャナは続行できます。 • この状態を回避するには、ホストコンピュータが推奨仕様を満たしていることを確認してください。
スキャン前にファームウェアをアップデートしてください	91	操作に必要なファームウェアのバージョンが見つかりませんでした。バックアップファームウェアは使用中です。 • 最新版のスキャナファームウェアをロードしてください。
ポッドが閉じられました	26	情報メッセージです。ポッドが閉じられました。
ポッドが開けられました	25	情報メッセージです。ポッドがしっかりと閉まっていません。
パワー オン セルフテスト完了	20	情報メッセージです。スキャナで電源投入後のセルフテストが完了しました。
パワーオンセルフテスト完了	6	このエラーは、スキャナの電源を入れる時に発生する可能性があります。 • スキャナの電源を切り、PC の電源を切ってください。数秒後に PC の電源を入れ直し、スキャナの電源を入れます。 • それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
プリンタのビットマップフォントが使用中です	281	情報メッセージです。代替プリンタフォントファイルが見つかったため、デフォルトのフォントの代わりに使用されています。
後部キャリブレーションに失敗しました	112	裏面イメージングパスのキャリブレーションに失敗しました。 • イメージングガイドをクリーニングしてください。手順については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 • スキャナのキャリブレーションを再度実行します。このとき必ず正しいキャリブレーションシートを使用してください。第 3 章の「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。 • それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
裏面キャリブレーションに成功しました	113	情報メッセージです。裏面のイメージパスが正しくキャリブレーションされました。

メッセージ	ID 番号	オペレータメッセージ
書類を再度スキャンしてください	ID 番号 多数	書類が搬送部を通過しましたが、イメージを生成できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • 用紙検知センサを清掃します。 • 原稿の先端が揃っているか確認してください。詳細については、第3章の「原稿の準備」を参照してください。 • フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤ、およびプリセパレーションパッドの状態を確認します。必要に応じて、クリーニング、交換してください。 • 書類を再度スキャンして、イメージが生成されるかどうか確認してください。
要求されたページがスキャンされました	337	情報メッセージです。スキャナが設定された原稿のスキャンを完了しました。
イメージ処理のため一時停止中	63	情報メッセージです。スキャナが一時停止しました。 <ul style="list-style-type: none"> • ホスト PC の速度が遅いため、スキャナの処理速度とずれが生じている可能性があります。
トランスポートタイムアウト	336	情報メッセージです。休止状態により搬送部の電源が消えました。
UDDS キャリブレーションエラー	333	UDDS キャリブレーションに失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> • このとき必ず正しい超音波重送検知のキャリブレーションシートを使用してください。第3章の「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。 • センサをクリーニングしてから、もう一度操作してください。 • それでも問題が解決しない場合は、サービスセンタに連絡してください。
UDDS キャリブレーション成功	332	情報メッセージです。スキャナの超音波重送検知のキャリブレーションが正常に実行されました。
UDDS キャリブレーションが出来ていません	21	<ul style="list-style-type: none"> • 超音波重送検知のキャリブレーションを実行します。手順については、第3章の「スキャナのキャリブレーション」を参照してください。
UDDS 重送を検知しました	23, 24, 334	原稿の重送状態が検知されました。 <ul style="list-style-type: none"> • 重なった原稿は再度スキャンする必要があるため、ホストコンピュータの画面でイメージを確認してください。 <p>次のような場合にこの状態が発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原稿の分離が不十分で重なっている • 原稿にステッカーが貼られている • 原稿に皺がある • 原稿が厚すぎる（重送検知を高にした状態で）
スキャンできません	5	<ul style="list-style-type: none"> • 以前のエラー状態が解消されていません。たとえば、原稿が詰まったまま完全に除去されていないことが考えられます。 • イメージ処理パラメータが不完全か、または矛盾しています。 • 実際の状態に対応する別のログエントリを参照してください。

メッセージ番号一覧

以下の番号一覧を使用すると、エラーをすばやく確認できます。エラー状態の詳細と対処方法については、前述のメッセージ一覧を参照してください。

ID 番号	オペレータメッセージ
1	ホスト待機中
4	ジョブ設定が不正です
5	スキャンできません
6	パワーオンセルフテスト完了
19	ランプの準備が出来ていません (スキャン)
20	パワー オン セルフテスト完了
21	UDDS キャリブレーションが出来ていません
23	UDDS 重送を検知しました
24	UDDS 重送を検知しました
25	ポッドが開けられました
26	ポッドが閉じられました
30	搬送ジャム
35	原稿が長すぎます
36	原稿が長すぎます
48	ホスト待機中
63	回転またはホスト処理のためスキャナが一時停止しました
90	両方のプリンタを取り付けた状態では実行できません
91	スキャン前にファームウェアをアップデートしてください
105	キャリブレーション成功
106	キャリブレーションエラー
107	ランプの準備が出来ていません (キャリブレーション)
108	ランプ準備完了 (キャリブレーション)
109	イメージキャリブレーションをお勧めします
110	表面のキャリブレーションに失敗しました
111	表面のキャリブレーションに成功しました
112	後部キャリブレーションに失敗しました
113	裏面キャリブレーションに成功しました
120	イメージアドレスオーバーフロー
123	原稿の状態を確認してください
124	ドキュメントカウントが最大値を超えました
135	原稿の状態を確認してください
143	原稿の色が濃すぎるため、傾きを補正できません
149	イメージングガイドおよびランプを確認してください
177	画像がスキャン範囲を超えています
178	原稿の状態を確認してください
183	原稿が長すぎます

ID 番号	オペレータメッセージ
184	白バックグラウンドではキャリブレーションできません
260	入力エレベータに用紙がありません
280	ランプ準備完了 (スキャン)
281	プリンタのビットマップフォントが使用中です
282	インクカートリッジが取り付けられていません
293	上部イメージガイドをクリーニングしてください
294	下部イメージガイドをクリーニングしてください
297	入力エレベータがいっぱいです。フィードモジュールが見つからないか、壊れています
319	ケーブルが外れています
331	キャリブレーションエラー
332	UDDS キャリブレーション成功
333	UDDS キャリブレーションエラー
336	トランスポートタイムアウト
337	要求されたページがスキャンされました
355	ランプタイムアウト
359	ランプの準備が出来ていません (スキャン)
381	起動中にバックグラウンドアクセサリが交換されました
ID 多数	サービスセンターに連絡してください

サービスセンターへの問い合わせ

サポートの電話番号と詳細については、第 1 章の「サービス、サポートへの連絡方法」を参照してください。

問題の解決

コダック i1800 シリーズスキャナの使用中に発生する問題の解決方法については、次の表で確認してください。

トラブル	解決方法
スキャナの電源が入らない	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードがスキャナ背面のコンセントにしっかり接続されている。 • 電源コンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • 両方の電源スイッチがオンになっている（スキャナ背面にある主電源スイッチとスキャナ側面にある電源スイッチ）。
スキャナが Scan Validation Tool に認識されない	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 管理者権限を持つユーザによって、ソフトウェアがインストールされている。 • FireWire ケーブルが正しく接続されている。 • デバイスマネージャにスキャナがイメージングデバイスとして表示されている。 • スキャナと PC の電源を入れ直してみる。まず PC の電源を入れ直してください。次に、FireWire ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、スキャナを再起動してください。
スキャナが原稿をスキャンまたは給紙しない	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが接続され、電源がオンになっている。 • ポッドがきちんと閉じられている。 • ホストコンピュータからスキャナを有効にしている。 • 原稿がフィードモジュールと接触している。 • 特別な処理を必要とする原稿の場合は、給紙中にギャップリリースボタンを押している。 • 原稿のサイズ、重さなどが仕様に合っている。 • 小さい原稿を給紙している場合は、原稿が用紙センサの対象となるように入力エレベータにセットされていることを確認してください。 • フィードモジュールおよびセパレーションローラの消耗サインを確認して、必要に応じて交換してください。 • とても暗い原稿や曲がった原稿を束の下に置いていない。原稿の一番下に白い用紙を置き、再度スキャンしてください。 • カウントオンリーモードを使って給紙をテストしてください。
サイドガイドが動かない	入力エレベータから原稿をすべて取り除いて、ロックスイッチが ロック解除 の位置にあることを確認してください。
一度に一枚以上のドキュメントが搬送路に送られているか、大量の重送が検知されています。	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 「原稿の準備」に記載されているガイドラインに従って原稿を準備している（ホチキスやクリップを取り除き、用紙の先端を揃えるなど）。 • 用紙サイズと重量の条件を原稿が満たしている。 • 重送検知センサが汚れていない。 • セパレーションローラ、フィードモジュール、およびプリセパレーションパッドが汚れていない、また、正しく取り付けられている。 • フィードモジュールのタイヤ、セパレーションローラのタイヤ、およびプリセパレーションパッドが摩耗しておらず、必要に応じて新しいものに交換している。 • 超音波検知のキャリブレーションが行われている。

トラブル	解決方法
イメージ品質が悪い、または低下する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージングガイドが汚れていない。第5章の「メンテナンス」を参照してください。 ・スキヤナのキャリブレーションを実行した。第3章の「スキヤナのキャリブレーション」を参照してください。 ・iThresholding を使用している場合は、コントラストの値を減らす。 ・別のカラーテーブルを使用する。 ・カラー／グレースケールイメージの場合、輝度／コントラスト調整ツールを使って独自のカラーテーブルを作成する。 <p>それでもイメージ品質に問題がある場合は、サービスセンターに連絡してください。</p>
キャリブレーションに失敗した	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行するキャリブレーションに適したキャリブレーションシートを使用している、また、その方向は正しい。イメージキャリブレーションシートと超音波重送検知のキャリブレーションシートは異なります。 ・イメージングガイドが汚れていない。 ・搬送部に障害物がない。 ・センサが汚れていない。 ・使用しているキャリブレーションシートが汚れていない。 <p>それでもイメージ品質に問題がある場合は、サービスセンターに連絡してください。</p>
紙詰まりが発生する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「原稿の準備」に記載されているガイドラインに従って原稿を準備している（ホチキスやクリップを取り除き、用紙の先端を揃えるなど）。 ・出力トレイおよびサイドガイドが、スキャンする原稿の長さや幅に合わせて調整されている。 ・詰まっている原稿すべてが搬送部から取り除かれた。 ・用紙サイズと重量の条件を原稿が満たしている。 ・センサが汚れていない。 ・セパレーションローラ、フィードモジュール、およびプリセパレーションパッドが汚れていない、また、正しく取り付けられている。 ・搬送ローラが汚れていない。 ・バックグラウンドストリップが正しく取り付けられている。 ・フィードモジュールのタイヤ、セパレーションローラのタイヤ、およびプリセパレーションパッドが摩耗しておらず、必要に応じて新しいものに交換している。
長尺原稿が給紙されない、または詰まる	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力エレベータ延長トレイが開いており、長尺原稿を支えている。 ・出力トレイがスキャンする原稿の長さに合わせて調整されている。 ・出力トレイが正しく取り付けられている。 ・原稿延長トレイが正しく取り付けられている。
スキャン後にローラの跡が原稿に付く	<p>フィードモジュールのタイヤ、セパレーションローラのタイヤ、および搬送路のローラをクリーニングします。</p>
イメージに縦線が出る	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージングガイドが汚れていない。 ・最後にイメージキャリブレーションを行った時に、あらかじめスキヤナを完全にクリーニングしている。 ・スキヤナのキャリブレーションを実行する際は、必ず汚れのない適切なキャリブレーション用紙を使用している。スキヤナに付属している、専用のキャリブレーションシートを使用してください。 ・iThresholding を使用している場合は、コントラストの値を減らします。

トラブル	解決方法
拡張プリンタが希望どおりの印字を行わない	スキャンした原稿の印字に問題がある場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • インクカートリッジが空になっていないか確認します。 • インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。 • インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。 • プリンタキャリアがスロットに正しく配置されているか確認します。 • プリンタコネクタがすべてしっかりと固定されていて、リボンケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。 • プリンタがホストコンピュータから有効になっていて、設定通りの印字文字が指定されているか確認します。
イメージが小さすぎる、または黒枠がある	<ul style="list-style-type: none"> • イメージングガイドをクリーニングしてください。第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 • スキャナーをクリーニングします。第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 • iThresholding を使用している場合は、コントラストの値を減らします。 • 黒（または白）バックグラウンドストリップに傷がないかどうかを確認します。必要に応じて交換してください。

付録 A アクセサリや消耗品

この付録では、コダック i1800 シリーズスキャナーで利用できるアクセサリや消耗品について説明します。

黒バックグラウンドアクセサリ

ホチキスやペーパークリップが誤ってスキャンされると黒バックグラウンドストリップに傷が付くおそれがあります。傷が付くと、境界線が黒くなったり、正確なクロッピングができなくなる場合があります。黒バックグラウンドストリップに損傷がある場合、交換してください。**カタログ番号 801 4755**

薄紙専用フィードモジュール

薄紙専用フィードキット (i600/i1800 用) は、用紙重量 25 g/m² ~ 75 g/m² kg (7 ~ 20 ポンド) の軽量紙を給紙できます。このキットには、薄紙を給紙するために特別に設計されたフィードモジュールとセパレーションローラが含まれています。このキットには、以下の部品が含まれます。

- フィードモジュール 1 個
- セパレーションローラ 1 個
- プリセパレーションパッド 4 個
- フィードモジュール用交換タイヤ 17 個
- セパレーションローラ用交換タイヤ 9 個

薄紙専用フィードモジュールの取り付け方法の説明はキットに付属しています。**カタログ番号 896 5279**

白バックグラウンドアクセサリ

トレーシングペーパーなど、半透明の原稿をスキャンする場合に、背景が暗く見えることがよくあります。白バックグラウンドアクセサリ (i600/i1800 用) を使用すると、スキャン中に背景に写り込む黒い部分がなくなり、イメージがより白く仕上がります。

白バックグラウンドアクセサリには、白バックグラウンドストリップが2つ用意されており、スキャナの2つの黒バックグラウンドストリップと交換できます。白バックグラウンドアクセサリの取り付け方法の説明はキットに付属しています。**カタログ番号 894 9000**

手動フィーダ

原稿を手動給紙する必要がある場合は、平坦な作業面を持つ i1800 用手動フィーダをご利用ください。手動フィーダは簡単に取り付けたり、取り外すことができます。手動フィーダには、シェルフと2つのサイドガイドがあり、これらを適切な位置に調整して正しくスキャンすることができます。**カタログ番号 874 1894**

高解像度プリンタアクセサリ

高解像度プリンタアクセサリを利用すれば、原稿を高解像度で印刷することができます（600 dpi、表面、事前スキャンのみ）。このプリンタをインストールすると、拡張プリンタ（Enhanced Printer）にはアクセスできなくなります。**カタログ番号 815 0237**

付録 B 仕様

スキャナーの種類／速度	i1840 スキャナ：毎分 160 枚を処理（横向き）。オートドキュメントフィーダを搭載した、拡張プリンタ内蔵の両面読取り カラー スキャナ i1860 スキャナ：毎分 200 枚を処理（横向き）。オートドキュメントフィーダを搭載した、拡張プリンタ内蔵の両面読取り カラー スキャナ
スキャンテクノロジー	デュアルトリカラー + CCD グレースケールの出力階調は 8 ビット（256 階調） カラー読み取り階調は 40 ビット（赤、緑、青、および黒チャンネルあたり 10 ビット） カラー出力階調は 24 ビット
出力解像度	白黒：200, 240, 300, 400 カラー／グレースケール：100, 150, 200, 240, 300
圧縮形式	JPEG、CCITT、G4、非圧縮
スキャンエリア	幅：6.4 ～ 30.5 cm（2.5 ～ 12 インチ） 長さ：6.4 ～ 101.6 cm（2.5 ～ 40 インチ）
フィーダー容量	20 ポンドのボンド紙 500 枚（A3 サイズまで）
一日の推奨処理枚数	制限なし
光源	デュアルキセノンランプ／片面、水銀不使用
スキャナ稼働電圧	100 ～ 240 VAC、50/60 Hz、7.0 ～ 3.5A
外形寸法	高さ（調節可能）：102 ～ 127 cm（40 ～ 50 インチ） 幅（タッチ画面の位置による）：78 ～ 83 cm（31 ～ 33 インチ） 奥行き：99 cm（39 インチ）
重量	218 kg（480 ポンド）
インターフェース	IEEE-1394（FireWire）インターフェイス、6 ピンコネクタ
重送検知	超音波重送検知機能、3 つの超音波検知センサが連携して、または個別に動作可能
カラーのタッチ画面	カラーの液晶タッチ画面を使った操作
人間工学に基づいた高さ調節	座って、または立って操作することができる、統合的な高さ調節機能
イメージアドレス	マルチレベルのインデックス／バッチ機能
パッチリーダー	連携して、または個別に動作できる 4 つのパッチリーダー（常時取り付け）
インプリンタ	表面（スキャン前）または裏面（スキャン後）インプリント
動作温度	15 ～ 35 °C（59 ～ 95 F°）
湿度	15 ～ 76 %
環境要因	エナジースター要件に準拠
発熱量	756 KJ/時、最大 717 BTU/時
高度	最高 2440 m（8000 フィート）
騒音レベル	データはすべて、DIN 45635、ANSI S12.10-1985、および ISO 7779 に従い、半無響音室で測定したものです。 動作時：63.4 dBA オフモード：42.3 dBA

Kodak

イーストマンコダック社
343 State Street
Rochester, NY 14650 U.S.A.
© Kodak, 2010. All rights reserved.
TM: Kodak